

- 問1 東南アジアに位置する、赤道付近の多くの島々から構成される国について説明した文として正しいものを、次の語句の中から一つ選びなさい。
この国は東南アジアで最大の人口を抱えており、国民の約9割がイスラム教を信仰しているという特徴があります。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
1. ベトナム 2. マレーシア 3. フィリピン 4. インドネシア
- 問2 世界の主要国の統計を比較した際、人口が14億人を超え中国と並び世界最大級の規模を持ちながら、一人当たりの国民総所得（GNI）が中国やブラジル、日本などと比較して依然として低い水準にあり、同時に著しい経済成長を続けている国はどこか、名称を答えなさい。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
1. オーストラリア 2. インド 3. 中国 4. ブラジル
- 問3 アメリカ合衆国のヒューストンと、インドのベンガルールのように、経度が約180度離れている都市間で業務を分担するビジネスモデルがあります。このように、大きな経度差がある地域間で連携することによって得られる、業務上の最大の利点は何ですか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
1. 使用する標準時が一致しているため、リアルタイムでの会議が容易な点 2. 昼夜の逆転を利用することで、二十四時間体制で効率的に業務を継続できる点 3. 地理的な距離が近いため、航空機を用いた人の往來を低コストで行える点 4. 緯度が共通しているため、気候による作業効率への影響を最小限にできる点
- 問4 中国における1980年から2050年までの年齢別人口構成の推移をまとめた統計において、将来的にその割合が低下し、製造業などにおける労働力不足を招くと懸念されている「15歳から64歳」の人口区分を何と呼びますか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
1. 年少人口 2. 生産年齢人口 3. 非労働力人口 4. 老年人口
- 問5 中国における農産物の生産地域の特色について述べた文として、自然環境（気候）との関係からみて最も適切なものを選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)
1. 降水量の多い長江流域など南部では稲作が盛んで、比較的乾燥した華北平原など北部では小麦の生産が盛んである。 2. 地形が平坦な全土で米と小麦が均一に生産されており、地域による明確な作り分けは見られない。 3. 寒冷な気候である北部で米の二期作が行われ、温暖な南部で小麦の栽培が集中している。 4. 内陸部の乾燥地帯で大規模な稲作が行われ、沿岸の潤湿な地域で小麦の輸出用栽培が行われている。
- 問6 西アジアに位置するある国の2017年の輸出統計において、輸出総額は約1,570億ドルとなっており、輸出品目では自動車が14.9%で最も多く、次いで機械類が13.9%、衣類が9.6%を占めています。また、最大の輸出相手国がドイツであるこの国はどこですか。 (2020年 福島県公立入試 類似)
1. アラブ首長国連邦 2. トルコ 3. サウジアラビア 4. ロシア
- 問7 東南アジアの諸地域において、現地の気象局が季節風（モンスーン）の到来を公式に発表し、それがニュースとして大きく報じられる背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)
1. 季節風が吹くと気温が氷点下まで下がり、冷帯のような厳しい冬が始まるため 2. 一年中安定して吹き続ける風を利用した、風力発電の開始時期を決定するため 3. 降水量の増減が農作物の作柄を左右し、市場の物価に大きな影響を与えるため 4. 夏季に降水が極端に少なくなる地中海性気候への対策を講じる必要があるため
- 問8 東南アジアのタイにおける自動車工業の特色について、工場の進出状況と主な輸出先を組み合わせた説明として正しいものはどれですか。 (2025年 東京都公立入試 類似)
1. タイの地元資本による企業を中心に、政府の保護政策のもとで国内市場向けに生産している 2. 日系企業を中心とした工場が集中しており、ASEAN諸国など近隣のアジア市場を中心に輸出している 3. ヨーロッパ系企業が内陸部に工場を建設しており、陸路を利用して中国やインドへ輸出している 4. アメリカ系企業が主に進出しており、北米自由貿易協定を利用してアメリカやカナダへ輸出している
- 問9 ベトナムやインドネシアといった国々とシンガポールを比較した統計において、日本企業の進出数と現地の経済状況の関係性を説明したものとして、正しいものはどれですか。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
1. 平均賃金が高い国ほど、安価な労働力を求める日本の製造業の進出が活発になる傾向がある 2. 平均賃金が高い国ほど、生産コストの削減を目的とする日本の製造業が進出しやすい傾向がある 3. シンガポールのように平均賃金が高い国では、低賃金の国に比べて工場などの進出数が急増している 4. 日本企業の進出数は、現地の平均賃金の高さに関わらず天然資源の産出量のみで決定される
- 問10 中国の地域別の経済状況について、上海や広東などの沿海部では一人あたり平均年収が約3万～4万元に達しているのに対し、甘粛や貴州などの内陸部では約1.7万～2万元にとどまっているという統計があります。このようなデータが示している中国の課題として、正しい記述はどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
1. 経済特区などが集中し発展を遂げた沿海部と、内陸部との間で所得の格差が広がっている。 2. 中国全土で一人あたり平均年収が均一化されており、地域による経済的な特徴は見られない。 3. 内陸部の経済成長が著しいため、沿海部から内陸部へ労働力が大量に移動している。 4. 内陸部は伝統的な重化学工業の拠点であるため、沿海部の商業都市よりも所得が高い傾向にある。
- 問11 アメリカ合衆国のシリコンバレーとインドのベンガルールという2つの都市の間では、情報技術（ICT）関連の研究開発において密接な協力関係が築かれています。インドのベンガルールが開発拠点として選ばれている理由のうち、両地点の経度の違いという地理的な条件を最大限に活用した説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 山口県公立入試 類似)
1. 英語が公用語の一つであるため、アメリカの技術者と円滑に意思疎通ができること 2. 両地点が地球のほぼ反対側に位置し、約12時間の時差を利用して24時間体制で業務を継続できること 3. 両地点が同じ北半球の中緯度帯に位置しており、季節の変化に伴う需要の変動が一致すること 4. インドの労働賃金がアメリカ合衆国に比べて安価であり、開発コストを大幅に削減できること
- 問12 1986年に「ドイモイ（刷新）」と呼ばれる政策を導入して市場経済化を進めたベトナムでは、2000年から2018年にかけて日系企業の進出が急速に拡大しました。この背景にある、ベトナムの経済状況と日本との関係についての説明として最も適切なものはどれですか。 (2022年 鳥取県公立入試 類似)
1. 一人当たりの国内総生産がタイやマレーシアより低く、安価で豊富な労働力を求めて多くの日本企業が進出した。 2. 進出日本企業数が急増した理由は、ベトナムが東南アジアで最大の人口を持ち、最大の輸出相手国が日本のみ限定されているためである。 3. 主な輸出相手国は中国とアメリカに限定されており、日本との貿易額はドイモイ政策の開始以降、減少傾向にある。 4. 一人当たりの国内総生産がすでに日本と同水準に達したため、日本企業は製造拠点としてではなく、主に高級品の販売市場として進出している。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 インドネシア	東南アジア最大の人口を擁するインドネシアは、赤道直下に位置する世界最大の群島国家です。宗教面では、人口の約90%がイスラム教徒であり、世界最大のイスラム教徒人口を抱える国としても知られています。地理的な特徴と宗教的な特徴をセットで覚えることが重要です。
問2	答え 2 インド	インドは2023年に中国を抜いて世界一の人口になったと推計されており、巨大な市場と労働力を背景に高い経済成長を続けています。一方で、人口が非常に多いため、国全体の経済規模（GDP）は大きくても、一人当たりの国民総所得（GNI）で見ると、先進国や同じ新興国である中国・ブラジルなどよりも低い水準に留まっているのが特徴です。オーストラリアは人口が少なく、一人当たりの国民総所得が非常に高いという逆の特徴を持ちます。
問3	答え 2 昼夜の逆転を利用することで、二十四時間体制で効率的に業務を継続できる点	地球の自転により、経度が約180度離れた地点間では昼夜がほぼ逆転します。この時差を活用し、一方の国が夜の時間帯に、地球の反対側にあるもう一方の国で業務を引き継ぐことで、二十四時間休むことなく作業を進めることが可能になります。特にソフトウェア開発などの情報通信技術（ICT）分野でこの仕組みが活用されています。
問4	答え 2 生産年齢人口	15歳から64歳までの層は「生産年齢人口」と呼ばれ、社会の経済活動を支える中心的な存在です。中国では長年続いた一人っ子政策などの影響で少子高齢化が進んでおり、この層の人口減少が将来の経済成長を抑制する要因として問題視されています。
問5	答え 1 降水量の多い長江流域など南部では稲作が盛んで、比較的乾燥した華北平原など北部では小麦の生産が盛んである。	中国の農業は、年降水量の違いによって生産地域が明確に分かれています。一般に「南稻北麦」と呼ばれ、温暖湿潤な南部（長江流域以南）では米の生産が、年降水量が少なく乾燥している北部（華北や東北地方）では小麦などの畑作が盛んに行われています。
問6	答え 2 トルコ	トルコはアジアとヨーロッパの結び目に位置する地理的条件を活かし、製造業が発展しています。伝統的な繊維産業による衣類の輸出に加え、近年はヨーロッパ市場向けの自動車や機械類の生産拠点となっており、ドイツなどの欧州諸国と強い経済的結びつきを持っています。サウジアラビアなどは原油が主力の輸出項目となるため、この統計データとは一致しません。
問7	答え 3 降水量の増減が農作物の作柄を左右し、市場の物価に大きな影響を与えるため	熱帯に位置する東南アジアでは、季節風がもたらす雨が農業、特に稲作にとって極めて重要な水源となります。季節風の到来時期や雨の量は、農産物の収穫量、ひいては経済全体や人々の生活物価に直結するため、社会的に非常に高い関心を持たれています。
問8	答え 2 日系企業を中心とした工場が集中しており、ASEAN諸国など近隣のアジア市場を中心に輸出している	タイの自動車工業は、1960年代以降の日系企業の進出によって大きく発展しました。タイは「アジアのデトロイト」とも呼ばれるほどの生産能力を持ち、生産された車両はASEAN域内の関税撤廃を背景に、アジア諸国へ効率的に輸出されています。欧米系企業や地元資本ではなく、日本の自動車メーカーが生産の中心的役割を担っている点が大きな特徴です。
問9	答え 2 平均賃金が低い国ほど、生産コストの削減を目的とする日本の製造業が進出しやすい傾向がある	企業の海外進出において、現地の「平均賃金」と「進出企業数」には密接な関係があります。特に、大量の労働力を必要とする製造業にとっては、賃金の低さは国際的な価格競争力を維持するための重要な条件となります。したがって、賃金の高いシンガポールよりも、賃金が抑えられているベトナムやインドネシアの方が、工場を構える日本企業にとって魅力的な進出先となり、進出数の伸びが大きくなります。
問10	答え 1 経済特区などが集中し発展を遂げた沿海部と、内陸部との間で所得の格差が広がっている。	統計データから、上海や広東といった「沿海部」の所得が、甘粛や貴州などの「内陸部」の約2倍近くに達していることがわかります。これは、1970年代末からの経済改革において沿海部が優先的に開発された結果、地域間で顕著な経済格差が生じていることを示しています。この格差を是正するため、近年では「西部大開発」などの内陸部振興策も行われています。
問11	答え 2 両地点が地球のほぼ反対側に位置し、約12時間の時差を利用して24時間体制で業務を継続できること	アメリカのシリコンバレー（西経120度付近）とインドのベンガルール（東経75度～90度の間）は、経度で見ると地球のほぼ反対側に位置しています。この地理的關係により、アメリカで業務が終わる夕方の時間がインドでは始業前の早朝にあたります。この時差を利用して、アメリカ側での進捗をインド側が引き継いで夜通し作業し、翌朝に再びアメリカ側へ戻すという「二十四時間対応」の開発体制が可能になります。賃金の安さや言語も重要な要因ですが、地理的条件（時差）を問われた場合は、この24時間体制の実現が正解となります。
問12	答え 1 一人当たりの国内総生産がタイやマレーシアより低く、安価で豊富な労働力を求めて多くの日本企業が進出した。	ベトナムは1986年のドイモイ政策導入により、社会主義の体制を維持しながら市場経済へと舵を切り、外資を積極的に受け入れてきました。タイやマレーシアなどの周辺国と比較すると、一人当たりの国内総生産はまだ低い段階にありますが、その分労働コストが抑えられるため、多くの日本企業が新たな生産拠点（工場）として進出を強めています。主な輸出相手国にはアメリカ、中国、日本が名を連ねており、世界的な製造拠点としての存在感を増しています。

- 問1 世界の諸地域の特徴について述べた文のうち、インドの地理的・社会的特徴として正しい説明を選びなさい。（2021年 岐阜県公立入試 類似）
1. 東アジアに位置し、共産党による一党独裁体制のもとで急速な工業化を進め、世界第2位の経済大国となった国である。
 2. 西アジアの乾燥地帯に位置し、イスラム教を国教として定め、石油などのエネルギー資源の輸出が国家財政の主軸となっている国である。
 3. 南アジアに位置し、英語を公用語の一つとしていることを活かしてIT産業が発展しており、人口が世界最多規模の連邦共和国である。
 4. 南アメリカ大陸に位置し、広大な熱帯雨林を持ち、サトウキビからバイオ燃料を生産するなどエネルギー開発にも積極的な国である。
- 問2 世界の小麦と米の生産状況について、2014年の統計資料に基づいた説明として最も適切なものはどれかを選びなさい。（2018年 大阪府公立入試 類似）
1. 乾燥した気候に適した小麦はオーストラリアやフランスが世界1位と2位を占め、温暖湿潤な気候に適した米は中国とインドが上位を占める。
 2. 小麦の生産量が17.3%、米の生産量が27.9%を占めていずれも世界1位である中国は、巨大な人口を抱えるため国内消費量も多い。
 3. 小麦の生産量において第3位のロシアや第4位のアメリカ合衆国は、米の生産量においても世界1位または2位を占めている。
 4. 米の生産量で上位4位に入るインドネシアやバングラデシュは、同様に小麦の生産量においても世界トップクラスである。
- 問3 世界の工業の動向において、中国の自動車生産に関する記述として正しいものを、次の統計的状況から判断して選びなさい。なお、中国の生産台数は2000年時点では約200万台程度でしたが、2017年にはその5倍を超える規模に成長しています。（2020年 茨城県公立入試 類似）
1. 21世紀に入ってから生産台数が垂直に近い角度で急増し、世界最大の生産規模を持つに至った
 2. 1970年代から一貫して世界1位の座を維持しており、2000年以降も安定した成長を続けている
 3. 世界的な環境規制の強化によって、2010年代後半から生産台数が大幅な減少に転じている
 4. 2000年以降の経済混乱により生産台数が激減し、主要国の中でも低迷した状態にある
- 問4 東南アジア諸国の経済統計を比較したとき、人口約9600万人、1人あたりの国民総所得が約2000ドルで、輸出品の上位に「機械類」「衣類」「はきもの」が並ぶ国の産業の歩みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 新潟県公立入試 類似）
1. 広大な国土と山岳地帯の資源を活かし、銅の輸出が国内経済の大部分を占めるモノカルチャー経済となっている。
 2. 豊富な石炭や天然ガスなどの地下資源を背景に、エネルギー資源の輸出を経済成長の柱としてきた。
 3. ドイモイ（刷新）政策を導入して市場経済への移行を図り、外国企業の誘致を進めることで工業化を達成した。
 4. 1970年代から「ルックイースト」を掲げ、日本などの東アジアの国々の発展に学ぶことで工業化を推進した。
- 問5 世界の国々の統計を示した資料において、人口が13億人を超えていながら、国内総生産（GDP）の総額がドイツを下回っている国があります。この国の経済的特色について、一人あたりのGDPと第3次産業人口の割合という2つの視点から述べた説明として、正しいものはどれですか。（2022年 秋田県公立入試 類似）
1. 人口が非常に多いため、一人あたりのGDPはドイツより高いが、第3次産業人口の割合は世界で最も低い部類に入る。
 2. アメリカやドイツと比較して、一人あたりのGDPが低く、第3次産業に従事する人口の割合も低い位置にある。
 3. 先進国に近い経済構造を持っており、一人あたりのGDPが高く、第3次産業人口の割合が第2次産業を大きく下回っている。
 4. 一人あたりのGDPは世界平均を大きく上回っているが、依然として第1次産業が中心であるため、第3次産業人口の割合は極めて低い。
- 問6 ベトナムでは近年、急速な経済成長を遂げるために、特定の産業を優先的に支援する政策が進められています。この政策において、ベトナム政府が外国企業からの投資を呼び込むために行っている具体的な取り組みとして、最も適切なものはどれですか。（2023年 宮城県公立入試 類似）
1. インフラが整備された工業団地を用意し、税金の免除などの優遇措置を講じることで投資を促す。
 2. 国内の製造業を保護するために、外国企業の進出を厳しく制限し、輸入関税を大幅に引き上げる。
 3. すべての工業製品を国内資本のみで生産するよう義務付け、外国企業に対しては資金援助のみを求める。
 4. 自国の経済的自立を優先するため、外国からの投資を断り、食料自給率を高める農業の近代化のみに特化する。
- 問7 インドの産業別就業者人口の割合を日本や韓国などの国々と比較した場合、インドに見られる顕著な特徴として適切な説明はどれですか。（2018年 広島県公立入試 類似）
1. 「世界の工場」と呼ばれる中国と同様に、第2次産業の就業者が最も多い。
 2. 日本や韓国に比べて、農業などを含む第1次産業の就業者割合が非常に高い。
 3. IT産業の成長により、日本と同様に第3次産業の就業者が就業人口の過半数を占めている。
 4. 経済発展に伴い、第1次産業の就業者割合が日本と同じ1割未満まで低下している。
- 問8 東南アジアに位置するインドネシアでは、近年、経済の発展とともに産業構造に大きな変化が見られます。2000年から2013年にかけて、1人あたりの国民総所得が約737ドルから約3,368ドルへと4倍以上に急増した統計において、2013年時点の産業別人口構成の特徴を述べたものとして、最も適切なものはどれですか。（2016年 兵庫県公立入試 類似）
1. 工業化の進展により、製造業を中心とする第2次産業の割合が、第1次・第3次産業を上回り、最も高い
 2. 経済成長に伴い、第1次産業から第3次産業までの就業人口がほぼ同率となっている
 3. 商業やサービス業などを含む第3次産業の割合が、第1次・第2次産業を上回り、最も高い
 4. 稲作を中心とする農業や漁業などの第1次産業の割合が、全産業の中で最も高い
- 問9 多くの日本企業が製造業の拠点をベトナムなどの東南アジア諸国に移転させています。2021年の統計において、日本の月平均賃金が約3000ドル弱であるのに対し、ベトナムは約300ドル強と約10倍の差があるというデータに基づいた場合、日本企業が現地へ進出する最大の目的として最も適切なものはどれですか。（2026年 山形県公立入試 類似）
1. 賃金の低い豊富な労働力を活用し、製品の生産コストを抑えて競争力を高めること。
 2. 現地の高度な技術力を活用し、日本国内では製造できない高機能な製品を開発すること。
 3. 現地に眠る石炭や鉄鉱石などの豊富な地下資源を、安価かつ大量に調達すること。
 4. 現地の巨大な消費市場を独占するために、現地での販売活動のみを強化すること。
- 問10 2016年の農産物統計において、中国とインドに次いで世界第3位の米生産量を記録した国はどこですか。この国は東南アジアの赤道付近に位置し、数多くの島々で構成されている国です。（2019年 愛媛県公立入試 類似）
1. インドネシア
 2. タイ
 3. フィリピン
 4. ベトナム
- 問11 中国の農業において、北京周辺に広がる華北平原からさらに北の東北地方にかけての、降水量が比較的少なく寒冷な気候条件を持つ地域で、主に行われている農業の形態と作物の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2017年 山口県公立入試 類似）
1. 稲の稲作
 2. 綿花の灌漑農業
 3. 小麦の畑作
 4. とうもろこしの二期作
- 問12 日本との歴史的な関わりにおいて、江戸時代初期に「アユタヤの日本町」が形成され、山田長政などの日本人が活躍したことで知られる国はどこですか。現在のこの国は、ASEANの一員として日本企業の工場も多く進出しており、天然ゴムの生産量が世界第1位となっています。（2021年 滋賀県公立入試 類似）
1. タイ
 2. ベトナム
 3. フィリピン
 4. マレーシア

答え合わせ・解説

問1	答え 3 南アジアに位置し、英語を公用語の一つとしていることを活かしてIT産業が発展しており、人口が世界最多規模の連邦共和国である。	インドは南アジアを代表する大国で、かつてイギリスの植民地であった歴史から英語が共通語として使われています。この語学力と数学能力の高さから、アメリカ企業のシステム開発などを請け負うIT産業が急速に成長しました。また、2023年には人口が中国を上回り、世界で最も人口の多い国になったと推計されています。
問2	答え 2 小麦の生産量で17.3%、米の生産量で27.9%を占めていずれも世界1位である中国は、巨大な人口を抱えるため国内消費量も多い。	中国とインドは、世界の主要な主食である小麦と米の両方で世界トップの生産量を誇りますが、これは自国の人口が多いため国内での需要が極めて高いことが背景にあります。一方で、ロシアやアメリカ合衆国は小麦の生産量は多いものの米の生産順位は高くなく、逆にインドネシアやバングラデシュは米の生産は盛んですが小麦の生産量は上位には含まれません。
問3	答え 1 21世紀に入ってから生産台数が垂直に近い角度で急増し、世界最大の生産規模を持つに至った	中国の自動車工業は、2000年までは世界的に見ても目立たない規模でしたが、2000年を境に極めて急激な右肩上がりの成長を見せました。2017年には2500万台を超えるという驚異的な記録を達成しており、これは2000年比で5倍以上の成長にあたります。歴史的に長く1位であったわけではなく、近年の急速な変化が特徴です。
問4	答え 3 ドイモイ（刷新）政策を導入して市場経済への移行を図り、外国企業の誘致を進めることで工業化を達成した。	ベトナムは1986年から「ドイモイ（刷新）」と呼ばれる政策を推し進め、社会主義の枠組みを維持しながら市場経済を導入しました。この政策により外国からの投資が急増し、安価な労働力を活用した繊維工業（衣類・はきもの）から、高付加価値な機械類の製造へと産業構造が高度化しました。なお、石炭はインドネシア、ルックイースト政策はマレーシア、銅の輸出はチリなどの特徴です。
問5	答え 2 アメリカやドイツと比較して、一人あたりのGDPが低く、第3次産業に従事する人口の割合も低い位置にある。	人口が13億人を超え、GDP総額がドイツより低いというデータは、インドの経済規模と効率性を示しています。一人あたりのGDP（横軸）と第3次産業人口割合（縦軸）をグラフにした場合、インドは先進国（アメリカやドイツなど）に比べて数値が小さく、グラフの原点に近い場所に位置します。これは、経済のサービス化（第3次産業化）や国民一人ひとりの所得水準が、発展途上の段階にあることを裏付けています。
問6	答え 1 インフラが整備された工業団地を用意し、税金の免除などの優遇措置を講じることで投資を促す。	ベトナムは1980年代後半からのドイモイ（刷新）政策により、市場経済の導入を進めました。政府は経済成長の柱として工業化を推進しており、外国資本を積極的に取り入れるために、道路や電力などのインフラを整えた「工業団地」を各地に建設しました。さらに、進出した企業に対して「税金の免除」などの優遇措置を与えることで、安価で良質な労働力を求める日本などの「外国企業」からの「投資」を大幅に増加させ、工業化を加速させています。
問7	答え 2 日本や韓国に比べて、農業などを含む第1次産業の就業者割合が非常に高い。	日本や韓国のような先進工業国では、産業の高度化が進んでいるため第1次産業の就業者割合は極めて低くなっています。対してインドは、IT分野の先進性で注目される一方で、広大な国土と膨大な人口を背景に、現在も全就業者の約5割が第1次産業に従事しており、先進国とは対照的な産業構造を維持している点が特徴です。
問8	答え 3 商業やサービス業などを含む第3次産業の割合が、第1次・第2次産業を上回り、最も高い	インドネシアでは近年の著しい経済成長に伴い、1人あたりの国民総所得が短期間で大幅に増加しました。これに合わせて産業構造の高度化が進んでおり、かつて主流であった農業などの第1次産業に代わり、サービス業や小売業などを含む第3次産業の就業人口割合が、第1次産業や第2次産業（製造業・建設業など）を抜いて最大となっています。これは経済発展に伴う典型的な産業構造の変化を示しています。
問9	答え 1 賃金の低い豊富な労働力を活用し、製品の生産コストを抑えて競争力を高めること。	日本とベトナムの間には大きな賃金格差が存在します。企業は、日本国内よりも安価な労働力を確保できる地域に工場などの拠点を移すことで、製品1つあたりの生産コストを下げようとしています。これにより、世界市場において他社製品よりも価格を抑えて販売することが可能になり、国際的な競争力を維持・向上させることができます。
問10	答え 1 インドネシア	世界の米生産量は、中国、インド、インドネシア、バングラデシュの順に多く、人口の多い国が上位を占める傾向があります。インドネシアは東南アジア最大の島国であり、高温多湿な気候と火山灰による肥沃な土壌を活かして、主食である米の生産が盛んに行われています。
問11	答え 3 小麦の畑作	中国では、年間降水量がおおよそ1000mmのライン（チンリン・ホワイ線）を境に、北側と南側で農業形態が大きく分かります。華北平原から東北地方にかけての地域は、南部に比べて降水量が少なく冬の寒さが厳しいため、水分を多く必要とする稲作ではなく、乾燥や寒冷な気候に強い小麦を中心とした畑作が伝統的に行われてきました。
問12	答え 1 タイ	アユタヤ王朝時代のタイでは、朱印船貿易を通じて日本との交流が活発になり、首都アユタヤには大規模な日本人町が作られました。現代でも日本との経済的結びつきは非常に強く、多くの日系自動車メーカーなどが進出しています。地理的条件としては、天然ゴムの生産で世界トップのシェアを誇るほか、ASEANの主要国として東南アジアの経済を牽引する役割を担っています。

- 問1 インドにおいて、1990年から2013年にかけて一次エネルギー国内供給量が約5.5億tも増加した背景として、最も適切な説明はどれですか。
(2018年 千葉県公立入試 類似)
1. 政府が一次エネルギー国内供給を制限する政策をとったことで、1990年比でエネルギー供給量が減少したため。
 2. 原油自給率が100%を超えたことで、国内のエネルギー消費を抑えて輸出に回す体制が整ったため。
 3. 急速な経済成長と人口増加に伴い、工業化や都市化が進んでエネルギー需要が大幅に拡大したため。
 4. 1人あたり国民総所得がカナダを上回るほど上昇し、省エネ技術の普及によってエネルギー効率が改善されたため。
- 問2 東南アジア地域の経済成長と地域の安定を目的として、1967年に結成された地域協力機構の名称として正しいものはどれですか。
(2026年 富山県公立入試 類似)
1. 欧州連合 (EU)
 2. 東南アジア諸国連合 (ASEAN)
 3. 環太平洋パートナーシップ協定 (TPP)
 4. アジア太平洋経済協力会議 (APEC)
- 問3 南アジアのパキスタンを流れるインダス川の中流域に位置し、東経75度付近にその所在地が確認できるインダス文明の代表的な遺跡は何ですか。
(2017年 愛知県公立入試 類似)
1. キリマンジャロの遺跡
 2. ウルル (一枚岩)
 3. アンデス山脈の集落
 4. モヘンジョ・ダロ
- 問4 東南アジアの自然環境と人々の生活について述べた文として、正しいものはどれですか。
(2023年 埼玉県公立入試 類似)
1. 雨季には湖の水位が下がるため、人々は水辺から離れた場所に住居を構える。
 2. 季節によって風向きが変わる季節風の影響で、雨季と乾季がはっきりと分かれている。
 3. 季節風の影響で内陸部には広大な砂漠が広がり、人々はオアシスを中心に生活している。
 4. 一年中大陸から乾燥した風が吹き続けるため、年間降水量が極めて少ない。
- 問5 インドネシア、タイ、ベトナムなど、東南アジアの10カ国が加盟し、地域内での経済協力や平和の維持を目指している組織の略称として適切なものはどれか。
(2016年 北海道公立入試 類似)
1. EU
 2. APEC
 3. NAFTA
 4. ASEAN
- 問6 日本企業がベトナムなどの海外に生産拠点を移転させる背景には、生産コストをめぐる国際的な要因があります。日本の月平均賃金が約3000ドル弱であるのに対し、ベトナムが約300ドル強という状況において、この賃金格差が企業活動に与える影響についての説明として適切なものはどれですか。
(2026年 山形県公立入試 類似)
1. 現地の労働者の賃金を日本並みに引き上げることで、現地でのブランドイメージを向上させる。
 2. 労働力の確保よりも、現地の最先端の製造技術を日本へ逆輸入することを主な目的とする。
 3. 安価な労働力を活用することで、製品価格を低く設定でき、世界市場での競争において有利になる。
 4. 生産コストの低減よりも、現地の環境規制を回避することを最大の目的として移転する。
- 問7 アラブ首長国連邦から日本への輸出額の内訳において、原油や液化天然ガスなどの資源が約9割を占めている現状から推察される、日本のエネルギー事情に関する説明として最も適切なものはどれですか。
(2025年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 日本はこの国から、鉄鉱石や石炭を、原油以上に大量に輸入している。
 2. 日本は国内で消費する原油の大部分を自給できており、この国からの輸入は補完的なものである。
 3. 日本は発電や輸送に欠かせない化石燃料の多くを、特定の地域や国に依存している。
 4. 日本はこの国との貿易において、工業製品の輸出額よりも資源の輸入額の方が極めて少ない「貿易黒字」の状態にある。
- 問8 急速な人口増加と都市化が進むインドでは、都市部において様々な社会問題が発生しています。これらの問題とその対策に関する記述として、正しいものはどれですか。
(2018年 東京都公立入試 類似)
1. 公用語であるスペイン語の普及を背景に、都市部での高度な通信ネットワークの整備が日本企業によって独占的に行われている。
 2. サハラ砂漠の拡大による砂害を防ぐため、広大な緑化ベルトの形成と銅鉱石の輸出管理の徹底が日本の主導で行われている。
 3. 労働力不足を解消するためにスラムを解体し、農村部への強制的な人口移転と大規模な灌漑施設の建設が日本の支援で行われている。
 4. 急激な人口流入によりスラムが形成され、生活排水による水質汚濁が問題となっており、日本の技術協力を得て下水処理施設の整備が進められている。
- 問9 内陸アジアのモンゴルなど、降水量（雨）が少なく乾燥した地域で見られる、水や草を求めて家畜とともに移動する生活様式と、その移動に便利な折りたたみ式の住居の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。
(2022年 埼玉県公立入試 類似)
1. 遊牧とゲル
 2. 焼畑農業と高床式住居
 3. オアシス農業と日干しれんがの家
 4. 地中海式農業と石造りの家
- 問10 東アジアに位置するある都市の気候について、1月の平均気温がマイナス5度を下回るほど寒冷である一方、7月と8月の2ヶ月間に降水量が集中し、それぞれ200mmを超えるという統計があります。この気候の特徴を持つ都市として最も適切なものを選択してください。
(2024年 鳥取県公立入試 類似)
1. 北京
 2. 東京
 3. ローマ
 4. デンバー
- 問11 アラブ首長国連邦 (UAE) の輸出統計を確認すると、かつて大半を占めていた石油関連以外の品目の割合が増加しています。また、観光収入の急増に合わせてサービス業の割合も上昇していますが、このように国が「脱石油」を進める背景にある理由として最も適切な説明はどれですか。
(2024年 佐賀県公立入試 類似)
1. 限りある地下資源に頼り続けるリスクを回避し、安定した経済基盤を築くため
 2. 国際社会から石油の採掘を禁止する条約が採択され、産業が禁止されたため
 3. 近隣諸国との紛争により、石油の輸出ルートがすべて封鎖されたため
 4. 石油の埋蔵量が世界で最も少なく、すでに完全に枯渇してしまったため
- 問12 中国の深圳 (シェンチェン) や廈門 (アモイ) といった沿海部の都市に設けられ、税制の優遇措置などを通じて外国の資本や技術を積極的に受け入れている地域を何といいますか。
(2016年 岐阜県公立入試 類似)
1. 特別行政区
 2. 民族自治区
 3. 経済開発区
 4. 経済特区

答え合わせ・解説

問1	答え 3 急速な経済成長と人口増加に伴い、工業化や都市化が進んでエネルギー需要が大幅に拡大したため。	インドの一次エネルギー国内供給量が著しく増加している要因は、同国の高い経済成長率と膨大な人口にあります。工業化の進展や都市部での生活水準の向上により、電力や燃料などのエネルギー消費が爆発的に増えています。このように、経済発展の初期から中期段階にある新興国では、1人あたり国民総所得が比較的低くても、国全体のエネルギー供給量が急増する傾向があります。
問2	答え 2 東南アジア諸国連合（ASEAN）	東南アジア諸国連合（ASEAN）は、インドネシアやタイなどの東南アジア諸国によって結成された組織です。地域内の平和維持だけでなく、経済的な結びつきを強めることで、世界経済における競争力を高める役割を担っています。アジア太平洋経済協力会議（APEC）は日本やアメリカを含むより広い地域の協力枠組み、欧州連合（EU）はヨーロッパの組織です。
問3	答え 4 モヘンジョ・ダロ	インダス川流域で紀元前2500年ごろから栄えたインダス文明において、現在のパキスタンに位置する大規模な都市遺跡です。この遺跡は、当時の高度な文明水準を示す重要な拠点として知られています。
問4	答え 2 季節によって風向きが変わる季節風の影響で、雨季と乾季がはっきりと分かれています。	東南アジアでは、海洋からの湿った風が吹く「雨季」と、大陸からの乾いた風が吹く「乾季」が見られるのが大きな特徴です。この周期的な気候の変化に合わせて、水上集落のような住居の工夫や、稲作を中心とした農業など、独自の生活文化が育まれてきました。砂漠はこの地域の主な特徴ではありません。
問5	答え 4 ASEAN	1967年に結成された東南アジア諸国連合のことで、当初の5カ国から現在は10カ国に拡大している。域内の関税撤廃を進めるなど、経済的な結びつきを強めることで地域の安定を図っている。
問6	答え 3 安価な労働力を活用することで、製品価格を低く設定でき、世界市場での競争において有利になる。	企業が海外進出を検討する際、特に製造業においては人件費がコストの大きな割合を占めます。統計に示されているような10倍近い賃金格差は、企業にとって大きな魅力となります。低賃金労働力を活用して安く製品を作るとは、消費者に低価格で提供できることを意味し、これがグローバル経済における大きな強みとなります。
問7	答え 3 日本は発電や輸送に欠かせない化石燃料の多くを、特定の地域や国に依存している。	日本のエネルギー自給率は低く、特に原油についてはその約9割をアラブ首長国連邦を含む西アジア（中東）地域からの輸入に頼っています。貿易統計において原油や液化天然ガスの割合が極めて高いことは、日本のエネルギー安全保障が特定の資源国との安定した関係に支えられていることを示しています。鉄鉱石や石炭は主にオーストラリアなどから輸入されており、産油国であるアラブ首長国連邦の主な輸出項目ではありません。
問8	答え 4 急激な人口流入によりスラムが形成され、生活排水による水質汚濁が問題となっており、日本の技術協力を得て下水処理施設の整備が進められている。	インドのような新興国では、都市への急激な人口集中に対して上下水道などのインフラ整備が追いついていません。その結果、居住環境の劣悪なスラムが形成されたり、未処理の生活排水が河川に流出する水質汚濁が深刻な課題となっています。こうした背景から、日本は政府開発援助（ODA）などを通じて、高度な排水処理技術や下水道整備の支援を行っています。
問9	答え 1 遊牧とゲル	降水量が極めて少ない乾燥帯の内陸部では、農作物を育てるのが難しいため、わずかに生える草を求めて羊や馬などの家畜を飼育する「遊牧」が伝統的に行われてきました。この生活様式では家畜の餌がなくなると次の場所へ移動する必要があるため、木製の骨組みとフェルトを用いた、解体や組み立てが容易な「ゲル」と呼ばれる移動式住居が活用されています。熱帯で見られる高床式住居や、地中海沿岸の石造りの家とは、気候条件に応じた工夫の方向性が異なります。
問10	答え 1 北京	ユーラシア大陸の東部に位置する北京は、温帯の季節風（モンスーン）気候に属しています。夏季は海からの湿った風の影響で降水量が非常に多くなりますが、冬季は大陸からの乾いた冷たい風の影響を受けるため、気温が氷点下まで下がり乾燥するのが特徴です。東京も季節風の影響を受けますが、北京に比べて冬季の寒さは緩やかです。ローマは夏季に乾燥する地中海性気候、デンバーは内陸部で乾燥した気候であり、北京のような極端な夏季の降水集中は見られません。
問11	答え 1 限りある地下資源に頼り続けるリスクを回避し、安定した経済基盤を築くため	石油資源は有限であり、国際情勢による価格変動が激しいため、それだけに依存することは経済的な不安定さを招きます。UAEは将来を見据え、観光や金融、航空などのサービス業を育成することで、石油がなくても国が成り立つような「脱石油」の仕組みづくりを急いでいるのです。
問12	答え 4 経済特区	1970年代末から始まった「改革・開放」政策の一環として、中国が特定の地域に設けた制度です。地理的に輸出入に便利な沿海部を指定することで、海外企業が工場を建てたり投資をしたりしやすい環境を整え、中国の急速な経済発展のきっかけとなりました。

- 問1 北緯30度から45度の範囲には、日本の本州の大部分が含まれます。世界地図において、この日本と同じ緯度帯に位置する国のうち、アジア大陸の西端にあり、ヨーロッパとアジアの両方の文化が混ざり合う「結節点」としての役割を果たしている国を選びなさい。（2026年 愛媛県公立入試 類似）
1. エジプト 2. オーストラリア 3. トルコ 4. アメリカ合衆国
- 問2 トルコの産業と貿易の特色について、その背景を含めて説明した文として最も適切なものはどれですか。（2020年 福島県公立入試 類似）
1. 広大な乾燥帯を利用した小麦の企業的穀物農業が盛んであり、農産物が輸出額の過半数を占めている。 2. 豊富な石油資源の輸出に依存した経済構造を持っており、輸出相手国は主にアメリカや中国である。 3. アジアとヨーロッパの接点という立地を活かし、ドイツなどの欧州諸国を主要な市場として自動車や機械類を輸出している。 4. 天然ガスのパイプラインの起点として、ロシアなどの近隣諸国へエネルギー資源を供給することが貿易の柱となっている。
- 問3 サウジアラビアなどの産油国における経済統計を確認すると、原油価格が1バレルあたり94ドルと高値であった2008年には、国内総生産（GDP）も2081億ドルと高い水準にありました。しかし、価格が61ドルにまで落ち込んだ2009年には、GDPも1695億ドルへと減少しています。このような統計から読み取れる、産油国の経済の特徴として適切なものはどれですか。（2016年 山形県公立入試 類似）
1. 原油価格の下落は、国内の消費を刺激するため国内総生産を押し上げる要因となる 2. 製造業が高度に発達しているため、原油価格が変動しても国内総生産は一定である 3. 国内総生産の規模は、原油価格の推移とは逆の方向に動く性質を持っている 4. 原油価格の変動が、その国の国内総生産の推移に大きな影響を及ぼす傾向がある
- 問4 東南アジアに位置するマレーシアは、古くからの先住民やマレー系のほかに、歴史的な経緯から中国やインドなどから移り住んだ人々が共に生活しています。このように、異なる言語、宗教、文化を持つ複数の民族によって構成されている国家の形態を何と呼びますか。（2023年 沖縄県公立入試 類似）
1. 単一民族国家 2. 都市国家 3. 君主制国家 4. 多民族国家
- 問5 中国の人口統計において、一定の面積（1平方キロメートル）あたりに居住する人口の数を示す数値を比較したとき、山東省などの沿岸部と、甘粛省などの内陸部の特徴を正しく説明しているものはどれですか。（2020年 熊本県公立入試 類似）
1. 人口増加率は内陸部で高く、沿岸部に向かうにつれて低くなる傾向がある。 2. 人口密度は沿岸部で高く、内陸部に向かうにつれて低くなる傾向がある。 3. 人口密度は内陸部で高く、沿岸部に向かうにつれて低くなる傾向がある。 4. 人口密度は中国全土で均一であり、省ごとの地理的条件による差はほとんど見られない。
- 問6 主に仏教を信仰しているタイの人々の日常生活で見られる行動として、最も適切なものはどれですか。（2026年 宮崎県公立入試 類似）
1. 朝の託鉢の際に、僧侶へ食料や日用品を寄付（布施）する。 2. 聖なる川とされるガンジス川に入って沐浴を行う。 3. 日々の生活の中でキリスト教の聖書を読むことを大切にする。 4. 聖地メッカのある方向に向かって、1日に5回お祈りをする。
- 問7 インドシナ半島の中央部に位置するある国では、工業化の進展に伴い貿易の構造が大きく変化しました。2013年の統計において、機械類の輸出額が約668億ドル、自動車の輸出額が約259億ドルに達し、これらが主要な輸出項目となっている国はどこですか。（2016年 兵庫県公立入試 類似）
1. フィリピン 2. ベトナム 3. マレーシア 4. タイ
- 問8 サウジアラビアなどが位置する西アジア地域では、その自然環境に適応した独自の食文化が見られます。この地域の自然環境と食生活の特徴を説明したものとして、正しいものはどれですか。（2023年 岩手県公立入試 類似）
1. 季節風の影響を避けるために乾燥した高地で生活しており、寒冷な気候に強い豚肉の加工品が主なタンパク源となっている。 2. 乾燥帯に属し降水量が少ないため、広大な土地を利用した放牧が行われ、羊やラクダの肉を焼いた料理などが食べられている。 3. 地中海性気候の影響で夏に雨が多いため、稲作と並行してラクダの飼育が行われ、米と肉を組み合わせた料理が発達した。 4. 温暖湿潤気候に属しているため、一年を通じて豊富な水を利用した淡水魚の養殖と、それをういた魚料理が主食となっている。
- 問9 東南アジアのマレーシアでは、1980年代には原油などの天然資源が輸出の中心でしたが、2022年の統計では機械類の割合が42.1%を占めるまでに成長しています。このようなマレーシアの輸出構造の変化について述べた説明として、最も適切なものを選びなさい。（2026年 埼玉県公立入試 類似）
1. ゴムやスズといった特定の農産物や鉱産資源のみの輸出に頼るモノカルチャー経済がさらに強化された。 2. 工業化による環境負荷を抑えるため、機械類の輸出を制限し、再び石油や天然ガスの輸出割合を上昇させた。 3. 天然資源への依存から脱却し、機械類などの工業製品の輸出を拡大させることで産業の高度化が進んだ。 4. 国内での消費を優先させる政策をとったため、工業製品の輸出が滞り、輸出総額が1980年代よりも減少した。
- 問10 アジア大陸の沿岸部から島嶼部にかけて、他の大陸と比較して圧倒的に多くの稲作地帯が広がっている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 奈良県公立入試 類似）
1. 広大な乾燥地帯が広がっており、地下水を利用した大規模な灌漑農業が行いやすいため 2. 大規模な機械化農業が容易な平坦な土地が多いため、小麦の栽培よりも生産効率が高いため 3. 一年を通じて冷涼な気候が続くため、病害虫の被害を受けにくく米の長期保存に適しているため 4. 夏の季節風の影響で高温多湿になり、水田稲作に適した気候条件が整っているため
- 問11 2000年代初頭のベトナムにおいて、輸出額で上位に位置していた「魚介類」の生産や輸出の背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2021年 兵庫県公立入試 類似）
1. 重工業化政策の推進により、鉄鋼や機械類の輸出が急増したため、水産物の輸出割合は極めて低くなった。 2. 内陸部の冷涼な気候を利用して、サケやマスなどの淡水魚を大規模に養殖し、ヨーロッパへ輸出している。 3. 伝統的な沿岸漁業が中心であり、冷凍技術や加工技術が未発達なため、生魚の状態での輸出に限定されている。 4. メコン川デルタ地帯などでマングローブ林を切り拓いて養殖池が作られ、エビなどの生産が拡大した。
- 問12 1980年から2015年にかけての韓国の輸出の変化について、その特徴を説明した文として正しいものを、品目の構成や輸出額の推移に着目して選んでください。（2018年 大分県公立入試 類似）
1. 衣類やせいの品の輸出割合は拡大し続け、2010年代に入っても軽工業が経済成長を支えている。 2. 輸出総額が30年あまりで約29倍に急増し、機械類が輸出全体の3割を超える最大の項目に成長した。 3. 工業化を断念し、精密機械や自動車などの輸入を増やすことで内需主導の経済へと変化した。 4. 船舶の輸出が大幅に減少したことを受けて、現在は石油製品の輸出が最も多くなっている。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 トルコ	トルコは北緯36度から42度付近に位置しており、日本の本州とほぼ同じ緯度帯にある西アジアの国です。ボスボラス海峡を境にアジア側とヨーロッパ側にまたがっており、歴史的にも東西の交通・文化が交差する重要な地点となっています。エジプトはより低緯度の北アフリカ、アメリカ合衆国は北アメリカ、オーストラリアは南半球に位置するため、条件に合致しません。
問2	答え 3 アジアとヨーロッパの接点という立地を活かし、ドイツなどの欧州諸国を主要な市場として自動車や機械類を輸出している。	トルコは西アジアの中でも工業化が進んだ国であり、特に欧州連合（EU）諸国との関わりが深く、自動車や機械、繊維製品などを広く輸出しています。石油資源に頼る周辺の西アジア諸国（産油国）とは異なり、製造業が産業の中心となっている点が大きな特徴です。
問3	答え 4 原油価格の変動が、その国の国内総生産の推移に大きな影響を及ぼす傾向がある	サウジアラビアのように輸出の大部分を原油に依存している国では、国際的な資源価格の動向が国家の経済規模に直結します。提示された数値の通り、原油価格の上昇に合わせて国内総生産（GDP）が増加し、価格の下落とともにGDPも減少するという、両者の間に強い相関関係が見られるのが特徴です。
問4	答え 4 多民族国家	マレーシアは、人口の約6割を占めるマレー系のほか、中国系（華人）やインド系の人々が共生する国です。それぞれの民族がイスラム教、仏教、ヒンドゥー教などの異なる宗教を信仰し、独自の文化を維持しながら社会を構成しているため、多民族国家の代表的な例として知られています。
問5	答え 2 人口密度は沿岸部で高く、内陸部に向かうにつれて低くなる傾向がある。	一定の面積あたりの居住者数を人口密度と呼びます。中国の人口分布は非常に偏っており、降水量が多く平地に恵まれた東側の沿岸部（山東省など）では人口密度が高く、乾燥した砂漠や高地が広がる西側の内陸部（甘粛省など）では人口密度が低くなっています。これは自然環境の差に加えて、経済的な発展状況の差が大きく影響しています。
問6	答え 1 朝の託鉢の際に、僧侶へ食料や日用品を寄付（布施）する。	仏教が深く根付いているタイでは、朝の託鉢の際に僧侶へ食料や日用品などを寄付（布施）する光景が一般的です。なお、メッカの方向へのお祈りはイスラム教、聖書を読むことはキリスト教、ガンジス川での沐浴はヒンドゥー教の特徴的な文化となります。
問7	答え 4 タイ	タイは1980年代後半から、日本などの外資系企業の工場を積極的に誘致することで急速な工業化を遂げました。かつては米などの農産物や魚介類、木材の輸出が中心でしたが、現在は「アジアのデトロイト」と呼ばれるほど自動車産業が盛んになり、機械類や自動車が輸出の上位を占めるようになっていきます。
問8	答え 2 乾燥帯に属し降水量が少ないため、広大な土地を利用した放牧が行われ、羊やラクダの肉を焼いた料理などが食べられている。	サウジアラビアを含む西アジアの大部分は、年間降水量が極めて少ない乾燥帯に属しています。農耕に十分な水が得られない地域が多いため、厳しい環境でも飼育できる羊やラクダを連れた遊牧や放牧が伝統的に行われてきました。その結果、これらの肉を焼いて食べる食文化が定着しました。なお、この地域に多いイスラム教徒の間では豚肉を食べることが禁じられているため、豚肉が主食となることはありません。
問9	答え 3 天然資源への依存から脱却し、機械類などの工業製品の輸出を拡大させることで産業の高度化が進んだ。	マレーシアなどの東南アジア諸国では、かつて特定の農産物や資源の輸出に頼るモノカルチャー経済が中心でしたが、外資の導入などを通じて工業化を推し進めました。その結果、1980年代と比較して、現在では機械類をはじめとする工業製品が輸出の大きな割合を占めるようになり、産業構造が高度化しています。輸出総額も、経済成長に伴って大幅に拡大しているのが一般的です。
問10	答え 4 夏の季節風の影響で高温多湿になり、水田稲作に適した気候条件が整っているため	稲作、特に水田稲作には大量の水と高い気温が必要です。アジアの東部から南部にかけては、夏に海から吹き込む季節風（モンスーン）によって高温多湿な環境が作られるため、稲作に非常に適しています。米は単位面積あたりの収穫量が多く、多くの人口を養うことができるため、アジアの人口密度の高さとも密接に関係しています。
問11	答え 4 メコン川デルタ地帯などでマングローブ林を切り拓いて養殖池が作られ、エビなどの生産が拡大した。	ベトナムの輸出用水産物、特にエビの生産は、南部のメコン川デルタを中心とした地域で活発に行われました。2001年時点の統計で輸出第3位（12.0%）を占めるほど成長した背景には、マングローブ林を養殖池へ転換するなどの開発がありましたが、同時に環境破壊も課題となりました。対照的に、選択肢にある鉄鋼や機械類が輸出の主力となるのは、さらに後の工業化が進んだ時期のことです。
問12	答え 2 輸出総額が30年あまりで約29倍に急増し、機械類が輸出全体の3割を超える最大の項目に成長した。	1980年には約181億ドルだった韓国の輸出総額は、2015年には約5267億ドルに達しており、急激な経済成長を遂げたことがわかります。内容を見ても、1980年に最大だった衣類のシェアは低下し、2015年には機械類が35.2%を占めるなど、産業の発展とともに輸出の柱が移り変わっています。船舶についても、1980年代には上位に入っていなかったものが、2015年には主要な輸出項目の一つとなっています。

問1 中国政府が沿岸部の特定の地域を経済特区に指定し、外国企業に対して税制上の優遇措置を与えた主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 特定の地域において少数民族の伝統的な文化や言語を保護し、高度な自治を認めるため | 2. 外国製品に対する関税を高く設定することで、国内の伝統的な地場産業を保護するため | 3. 国内の農村部から都市部への人口移動を厳しく制限し、食料自給率を維持するため | 4. 外国からの資本や高度な技術を導入することで、自国の工業化と経済発展を促進するため |
|--|--|--|---|

問2 インドの産業別就業者人口の割合を日本や韓国などの国々と比較した場合、インドに見られる顕著な特徴として適切な説明はどれですか。

(2018年 広島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---------------------------------------|
| 1. 経済発展に伴い、第1次産業の就業者割合が日本と同じ1割未満まで低下している。 | 2. IT産業の成長により、日本と同様に第3次産業の就業者が就業人口の過半数を占めている。 | 3. 日本や韓国に比べて、農業などを含む第1次産業の就業者割合が非常に高い。 | 4. 「世界の工場」と呼ばれる中国と同様に、第2次産業の就業者が最も多い。 |
|---|---|--|---------------------------------------|

問3 中国の主要都市における一月の平均気温と降水量の特徴について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 一月の平均気温は、緯度に関わらず大陸の東側よりも西側の内陸部の方が高い | 2. 一月の平均気温は、北部のシェンヤン（瀋陽）よりも南部のコワンチヨウ（広州）の方が高い | 3. 北京の年間降水量は、南方の上海よりも多く、熱帯モンスーンの影響を強く受けている | 4. 年間の降水量は、沿岸部に位置する上海よりも内陸部の都市の方が全体的に多い |
|--|---|--|---|

問4 1990年から2013年にかけての世界のエネルギー供給と経済状況について述べた文章のうち、インドの特徴として正しいものはどれですか。なお、2013年時点の統計において、カナダとインドを比較したものとします。 (2018年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 1人あたり国民総所得と原油自給率がともにカナダより低いが、一次エネルギー国内供給量は約2.5億tから約8億tへと急増している。 | 2. 1人あたり国民総所得はカナダより低いが、原油自給率は100%を超えており、一次エネルギー国内供給量の増加幅はカナダより小さい。 | 3. 1人あたり国民総所得はカナダより高いが、原油自給率は低く、一次エネルギー国内供給量は1990年以降減少傾向にある。 | 4. 1人あたり国民総所得と原油自給率がともにカナダより高く、一次エネルギー国内供給量は1990年から2013年にかけて横ばいで推移している。 |
|--|--|--|---|

問5 ベトナムにおいて、2000年代初頭からの十数年間で機械類の輸出シェアが爆発的に拡大し、国の経済を支える最大の項目へと成長した背景として、最も適切な説明を選んでください。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 石炭や鉄鉱石などの豊富な鉱物資源をそのまま輸出するモノカルチャー経済を強化したため | 2. 米の生産を大幅に削減し、すべての水田をスマートフォン工場へと転換する強硬な政策をとったため | 3. ASEAN（東南アジア諸国連合）を脱退し、周辺国との関税を高く設定することで国内産業を保護したため | 4. ドイモイ（刷新）と呼ばれる政策によって市場経済が導入され、外国資本の受け入れが進んだため |
|--|--|--|---|

問6 世界の主要な農産物統計において、生産量の第1位が中国（世界全体の17.0%）、第2位がインド、第3位がアメリカ合衆国となっている作物はどれですか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|-------|------|-------|
| 1. とうもろこし | 2. 大豆 | 3. 米 | 4. 小麦 |
|-----------|-------|------|-------|

問7 フィリピンの気候統計では、年間を通じて気温が25度以上と高く、さらに夏季から秋季にかけては月間降水量が400ミリメートルを超える極めて激しい降雨が記録されます。このような、季節によって吹く向きが変わる風の影響を強く受ける熱帯の気候区分を何といいますか。 (2019年 愛知県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|--------------|-----------|----------|
| 1. 地中海性気候 | 2. 熱帯モンスーン気候 | 3. 熱帯雨林気候 | 4. サバナ気候 |
|-----------|--------------|-----------|----------|

問8 中国において、山東省、湖南省、甘粛省など広範囲に分布し、漢字を使用する文化圏を形成してきた民族の特徴を説明したもののとして、正しいものはどれですか。 (2020年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---------------------------------------|
| 1. 高地での稲作を専門とし、独自の仏教信仰を軸とした政教一致の社会を築いてきた。 | 2. 農耕を基盤として発展し、周辺の民族に文化的な影響を与えながら人口を増やしてきた。 | 3. 東部沿岸部のみに居住し、19世紀以降にヨーロッパから移住してきた人々の子孫である。 | 4. 広大な乾燥地帯で遊牧を主な生業とし、移動式住居で生活する伝統を持つ。 |
|---|---|--|---------------------------------------|

問9 オーストラリアの貿易相手国の変化について、1965年と2015年の状況を比較した説明として、正しい内容を述べているものを選びなさい。

(2019年 埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 1965年にはアジア州の国々が主な輸出先であったが、2015年には工業製品の輸入を増やすため、イギリスを中心としたヨーロッパ州との貿易が主流になった。 | 2. 1965年から一貫して中国が最大の貿易相手国であり、2015年には日本や韓国を合わせたアジア州全体との貿易額がさらに増加した。 | 3. 1965年には北アメリカ州の国々との貿易が中心であったが、2015年には地理的に隣接するニュージーランドなどのオセアニア州内での貿易が全体の過半数を占めるようになった。 | 4. 1965年にはイギリスやアメリカ合衆国などの欧米諸国が貿易の上位を占めていたが、2015年には中国や日本などのアジア州の国々が上位となった。 |
|--|--|---|---|

問10 中国が沿海部に経済特区を設置し、外国企業の進出を促した背景や目的について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 外国企業に高い関税を課すことで国内産業を保護し、純粋な国産技術のみによる経済発展を目指すため。 | 2. すべての企業を国営化して政府の強い管理下に置き、農村部との経済格差を完全に解消するため。 | 3. 沿海部の人口密度を下げるために、労働力を内陸部の自治区へ分散させる政策の一環として行われた。 | 4. 市場経済の一部を取り入れることで、外国の資本や技術を導入し、停滞していた経済の近代化を図るため。 |
|--|---|---|---|

問11 2010年から2022年にかけての主要な漁業国の漁獲量の推移について、2010年の約500万トンから2022年には約1200万トンへと2倍以上に急増し、主要な漁業国の中でも特に際立った増加傾向を示している東南アジアの国はどこですか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|--------|--------|-------|
| 1. インドネシア | 2. インド | 3. ペルー | 4. 中国 |
|-----------|--------|--------|-------|

問12 アジア南部の地形の特徴を示した資料において、インド亜大陸の北側にそびえるヒマラヤ山脈が、周辺地域の自然環境に与えている影響についての説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 南北に長く走る巨大な山脈が障壁となり、インドと中国の間の文化交流が歴史を通じて完全に行われなかった要因となった | 2. インド洋からの湿った季節風（モンスーン）を遮るため、山脈の南側では雨が多く、北側の内陸部では乾燥した地域が広がっている | 3. 険しい高山地帯であるため、山脈の周辺一帯は居住が不可能であり、アジアにおいて人口が最も希薄な地域となっている | 4. 北極側からの冷たい空気を完全に遮断するため、アジア全域が一年中温暖な熱帯気候となっている |
|--|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 外国からの資本や高度な技術を導入することで、自国の工業化と経済発展を促進するため	当時の中国は、経済を活性化させるために国外の資金や優れた技術力を取り入れる必要がありました。そのため、沿岸部の都市を窓口として開放し、外国企業が活動しやすい環境（インフラの整備や税制優遇）を整えることで、輸出拡大と国内産業の近代化を目指しました。これは「改革・開放」政策の根幹をなす取り組みです。
問2	答え 3 日本や韓国に比べて、農業などを含む第1次産業の就業者割合が非常に高い。	日本や韓国のような先進工業国では、産業の高度化が進んでいるため第1次産業の就業者割合は極めて低くなっています。対してインドは、IT分野の先進性で注目される一方で、広大な国土と膨大な人口を背景に、現在も全就業者の約5割が第1次産業に従事しており、先進国とは対照的な産業構造を維持している点が特徴です。
問3	答え 2 一月の平均気温は、北部のシェンヤン（瀋陽）よりも南部のコワンチョウ（広州）の方が高い	広大な国土を持つ中国では、緯度の違いが気温に大きく影響します。一月の平均気温を比較すると、緯度の高い北部（シェンヤンや北京など）は寒さが厳しく、緯度の低い南部（コワンチョウなど）は温暖になります。降水量については、上海などの東部沿岸の方が内陸部よりも多くなるのが一般的です。
問4	答え 1 1人あたり国民総所得と原油自給率がともにカナダより低いが、一次エネルギー国内供給量は約2.5億tから約8億tへと急増している。	インドは1990年代以降、急速な経済発展を遂げていますが、巨大な人口を抱えるため、国民1人あたり国民総所得（GNI）はカナダなどの先進国に比べるとまだ低い水準にあります。また、国内での石油消費量が多いため原油自給率も低くなっています。一方で、経済成長と産業化に伴い、国全体のエネルギー需要を示す一次エネルギー国内供給量は、1990年から2013年の間に3億tを大きく超える急激な増加を見せています。
問5	答え 4 ドイモイ（刷新）と呼ばれる政策によって市場経済が導入され、外国資本の受け入れが進んだため	ベトナムは1986年から「ドイモイ（刷新）」政策を推進し、社会主義の枠組みを維持しながらも市場経済を導入しました。これにより日本や韓国などの外資系企業による直接投資が活発化し、電気機器や精密機械の組み立て拠点が形成されたことが、輸出額の大幅な増加につながりました。
問6	答え 4 小麦	中国は膨大な人口を支えるため農業生産が非常に盛んであり、小麦と米の両方において世界最大の生産量を誇っています。統計において中国、インド、アメリカ合衆国の順で生産量が多いのは小麦の特徴です。アメリカ合衆国は輸出量は多いものの、国内消費量も多い中国やインドが生産量では上位に位置します。
問7	答え 2 熱帯モンスーン気候	フィリピンは低緯度に位置するため一年中気温が高いですが、季節風（モンスーン）の影響を受けることで、降水量に明瞭な変化が生じます。特に夏季から秋季にかけて海側から湿った空気を運ぶ季節風の影響で降水量が激増する特徴があるため、熱帯の中でも熱帯モンスーン気候に分類されます。
問8	答え 2 農耕を基盤として発展し、周辺の民族に文化的な影響を与えながら人口を増やしてきた。	漢族は黄河文明以来、農耕を基盤として社会を形成し、漢字や儒教などの文化を周辺地域に広めながら、中国の歴史において中心的な役割を果たしてきました。そのため、現在でも中国の省の多くで人口の大部分を占めており、特定の自治区だけでなく、山東省や湖南省といった主要な省の全域にわたって定住しています。
問9	答え 4 1965年にはイギリスやアメリカ合衆国などの欧米諸国が貿易の上位を占めていたが、2015年には中国や日本などのアジア州の国々が上位となった。	オーストラリアの貿易構造は、20世紀半ばまではイギリスを中心としたヨーロッパ諸国に依存していましたが、21世紀に入ると経済発展の著しい中国をはじめとするアジア州諸国へとシフトしました。2015年時点では、中国、日本、韓国、タイといったアジアの国々が主要な貿易相手国の上位に並んでいます。
問10	答え 4 市場経済の一部を取り入れることで、外国の資本や技術を導入し、停滞していた経済の近代化を図るため。	1970年代後半までの中国は、社会主義的な計画経済によって経済が停滞していました。そこで「改革・開放」へと方針を転換し、特定の地域で市場経済的な手法を認めることで、外資の導入を試みました。これにより、外国企業の進出に伴う技術移転や雇用創出が実現し、中国全体の経済成長へとつながりました。
問11	答え 1 インドネシア	インドネシアは21世紀に入り、水産業の近代化や漁船の大型化を進めたことで、漁獲量を飛躍的に伸ばしました。2010年から2022年にかけての統計では、他の伝統的な漁業国と比較してもその伸び率は非常に大きく、世界有数の漁業国としての地位を確立しています。
問12	答え 2 インド洋からの湿った季節風（モンスーン）を遮るため、山脈の南側では雨が多く、北側の内陸部では乾燥した地域が広がっている	標高の極めて高いヒマラヤ山脈は、湿った空気を運ぶ季節風を上昇させる壁の役割を果たします。その結果、風上となる南側のインド周辺では多量の雨が降りますが、山脈を越えた北側のチベット高原などには湿った空気が届かず、乾燥した気候になります。このように地形が気候の境界線となっている点は、地理の学習において非常に重要です。

- 問1 フィリピンは東南アジアの中でも、国民の多くがキリスト教（カトリック）を信仰しているという独特の文化を持っています。このような宗教分布が形成された歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 神奈川県公立入試 類似）
- 16世紀からスペインの植民地支配を受け、キリスト教の布教が強力に進められたため。
 - 古くから大陸の仏教文化の影響を受け、独自のキリスト教文化を発展させてきたため。
 - 17世紀にオランダの統治下に入り、ヨーロッパ諸国との交易を通じて信仰が広まったため。
 - アメリカの植民地時代に、英語教育とともにカトリックが国教として定められたため。
- 問2 インドとブラジルの畜産業を比較した統計において、両国とも牛の飼育頭数は世界有数ですが、その利用目的には大きな違いがあります。ブラジルでは牛肉の生産や輸出を目的とした肉牛の放牧が盛んですが、インドでは食肉用ではなく、主に乳製品を得るための乳牛としての利用が中心となっています。インドでこのような特徴が見られる背景として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 群馬県公立入試 類似）
- 政府が急激な経済発展に伴う環境破壊を防ぐため、家畜の食肉処理を法律で制限しているため
 - 人口の約8割を占めるヒンドゥー教徒の間で、牛が神聖な動物として崇められ、肉食が避けられているため
 - イスラム教の教えが社会全体に浸透しており、牛と豚の両方の食用が厳格に禁止されているため
 - 国土の大部分が乾燥帯に属しており、肉牛を育てるための牧草が不足しているため
- 問3 中国の人口構成と民族に関する記述として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。（2020年 熊本県公立入試 類似）
- 中国は単一民族国家であり、漢族以外の民族は居住していない。
 - 漢族は主に内陸部の山岳地帯に居住する、人口の少ない民族である。
 - 清を建国した満州族が、現在の中国において最も人口が多い民族である。
 - 人口の約9割を占める漢族のほか、55の少数民族が暮らしている。
- 問4 インドの人口統計において、15歳未満の若年層の割合が非常に高く、年齢が上がるにつれて男女ともに割合が減少していくことで、グラフにした際に裾野の広い三角形の形になるものを何と呼びますか。（2022年 香川県公立入試 類似）
- 人口ピラミッド
 - 階級区分図
 - 等値線図
 - 人口密度図
- 問5 アジアの諸国に関する統計資料において、国土面積に対する森林面積の割合が0.5パーセントと極めて低く、年間の一人当たり二酸化炭素排出量が14.27トンと非常に高い数値を示している国があります。この国の特徴として最も適切な説明を選びなさい。（2025年 愛知県公立入試 類似）
- サウジアラビアであり、国土の大部分が乾燥帯に属するため樹木が育ちにくく、豊富な石油資源の産出と消費によって排出量が多くなっている。
 - インドであり、人口増加にともなう耕地拡大により森林が減少しており、石炭を主燃料とした火力発電への依存から排出量が増加している。
 - インドネシアであり、熱帯雨林の減少が問題となっている一方で、一人当たりの経済水準が急速に向上したことで排出量が急増している。
 - 中国であり、急速な工業化にともなって森林破壊が深刻化しており、膨大な人口によるエネルギー消費で排出量が世界最大となっている。
- 問6 南アジアに位置するインドでは、人々の生活に宗教が深く結びついています。この国で最も多くの人々が信仰しており、牛を神聖な動物として尊んだり、ガンジス川で「沐浴」を行ったりする特徴を持つ宗教として正しいものを選択してください。（2018年 福岡県公立入試 類似）
- ヒンドゥー教
 - イスラム教
 - 仏教
 - キリスト教
- 問7 中国の内陸盆地である四川地方において、その土地の農業や地理的条件と深く結びついた食文化の特徴として正しいものはどれですか。（2021年 大分県公立入試 類似）
- 広大な牧草地を利用した羊肉の料理が中心で、小麦の粉を練って焼いたナンを主食とする文化。
 - 盆地で生産される大豆や香辛料をふんだんに使った、マーボー豆腐などの辛みの強い料理。
 - 小麦を主原料とした皮で具材を包む八宝菜を中心とした、蒸し料理や煮込み料理。
 - 長江の下流域で獲れる魚介類を主役とし、素材の味を活かした砂糖と醤油による甘辛い料理。
- 問8 東京を中心とした正距方位図法による世界地図において、東京から見て南西方向に位置するインドという国について、その宗教的特色を説明したものとして適切なものはどれか。なお、この国には大勢の人々が河川に入り、身を清めながら祈りを捧げる光景が見られる。（2023年 鳥根県公立入試 類似）
- 古くから仏教が盛んであったが、現在は欧米文化の影響を強く受け、キリスト教徒が人口の過半数を占める。
 - 東南アジアに位置する多民族国家であり、メコン川流域で稲作を営みながら主に仏教を信仰している。
 - 西アジアから伝播したイスラム教が国教となっており、一日に五回の礼拝が義務付けられている。
 - 人口の約8割がヒンドゥー教を信仰しており、牛を神聖な動物として大切にする文化がある。
- 問9 1986年に「ドイモイ（刷新）」と呼ばれる政策を導入して市場経済化を進めたベトナムでは、2000年から2018年にかけて日系企業の進出が急速に拡大しました。この背景にある、ベトナムの経済状況と日本との関係についての説明として最も適切なものはどれですか。（2022年 鳥取県公立入試 類似）
- 主な輸出相手国は中国とアメリカに限定されており、日本との貿易額はドイモイ政策の開始以降、減少傾向にある。
 - 一人当たりの国内総生産がタイやマレーシアより低く、安価で豊富な労働力を求めて多くの日本企業が進出した。
 - 進出日本企業数が急増した理由は、ベトナムが東南アジアで最大の人口を持ち、最大の輸出相手国が日本のみに限定されているためである。
 - 一人当たりの国内総生産がすでに日本と同水準に達したため、日本企業は製造拠点としてではなく、主に高級品の販売市場として進出している。
- 問10 ペルシア湾に面したアラブ首長国連邦（UAE）の都市の一つで、石油によって得た豊富な資金を背景に、世界最高峰のビルであるブルジュ・ハリファの建設や大規模なリゾート開発を進め、急速に発展を遂げた都市はどこですか。（2020年 千葉県公立入試 類似）
- アブダビ
 - ドバイ
 - リヤド
 - ドーハ
- 問11 世界各地で見られる地域協力の枠組みのうち、東南アジア諸国連合（ASEAN）が掲げている主な目的や特徴として適切なものはどれですか。（2022年 山口県公立入試 類似）
- 石油の価格や生産量を調整し、加盟している産油国の利益を保護する。
 - 域内の経済成長を促進し、政治的・社会的な安定や文化の発展を図る。
 - ヨーロッパ全体の経済や政治の統合を進め、共通の通貨であるユーロを導入する。
 - 太平洋を取り囲む国々で、自由な貿易や投資を行うための緩やかな協力を行う。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 16世紀からスペインの植民地支配を受け、キリスト教の布教が強力に進められたため。	フィリピンの宗教分布は、大航海時代以降のヨーロッパ諸国による植民地支配と密接に関係しています。16世紀にスペインがこの地域を領有した際、植民地支配の確立とともにカトリックの布教を推進した結果、現在のような宗教構成が作られました。国名自体も当時のスペイン皇太子フェリペに由来しています。
問2	答え 2 人口の約8割を占めるヒンドゥー教徒の間で、牛が神聖な動物として崇められ、肉食が避けられているため	インドでは全人口の約80%がヒンドゥー教を信仰しています。ヒンドゥー教において牛はシヴァ神の乗り物とされるなど非常に神聖な動物とされており、殺して食べることはタブーとされています。しかし、牛乳やそれを加工したバター（ギー）などは貴重な栄養源として認められているため、畜産業は「乳製品の生産」に特化した形で発展しました。このように、特定の宗教の教えがその国の産業構造や統計データに強く反映される典型的な事例です。
問3	答え 4 人口の約9割を占める漢族のほかに、55の少数民族が暮らしている。	中国は広大な国土の中に、圧倒的多数派である漢族と、チベット族やモンゴル族などの55の少数民族が共存する多民族国家です。少数民族が居住する地域には、その自治を認める「自治区」が設けられている場所もありますが、総人口に占める少数民族の割合は約1割にとどまります。
問4	答え 1 人口ピラミッド	男女別・年齢別の人口構成をグラフ化したものを人口ピラミッドと呼びます。インドのような発展途上国では、出生率が高いために若年層の割合が大きくなり、グラフの形が底辺の長い三角形（富士山型）になるのが特徴です。これに対し、先進国では少子高齢化の影響で、中央部が膨らんだ釣鐘型や、若年層が極端に少ないつぼ型へと変化する傾向があります。
問5	答え 1 サウジアラビアであり、国土の大部分が乾燥帯に属するため樹木が育ちにくく、豊富な石油資源の産出と消費によって排出量が多くなっている。	サウジアラビアは降水量が極めて少ない乾燥帯に位置するため、森林面積割合が1パーセントにも満たないという特徴があります。一方で、世界有数の石油産出国であることから、国内のエネルギー消費において石油やガスへの依存度が高く、一人当たりの二酸化炭素排出量は先進工業国や他のアジア諸国と比較しても突出して高い傾向にあります。
問6	答え 1 ヒンドゥー教	インドの人口の約8割が信仰する民族宗教です。多神教であり、古くから身分制度（カースト制度）とも深く関わってきました。生活習慣としては、牛を神聖視して食べないことや、聖なる川で体を清める「沐浴」を行うといった、独自の文化が根付いています。
問7	答え 2 盆地で生産される大豆や香辛料をふんだんに使った、マーボー豆腐などの辛みの強い料理。	四川地方は内陸の盆地という地形的特徴から、夏は高温多湿、冬は冷え込みが厳しい環境にあります。こうした気候を乗り切るために、刺激の強い香辛料を多用する工夫がなされました。盆地内で栽培される大豆を原料とした豆腐と、独自の香辛料を組み合わせた料理がこの地域の特色です。
問8	答え 4 人口の約8割がヒンドゥー教を信仰しており、牛を神聖な動物として大切にす文化がある。	インドはヒンドゥー教徒が多数を占める国であり、宗教的な理由から牛を神聖視し、牛肉を食べないなどの独特な食文化や習慣が存在する。設問にある「河川に入り身を清める光景」はガンジス川における沐浴を指しており、これはヒンドゥー教の重要な儀礼の一つである。仏教はインドで誕生したが、現在のインドにおける信仰の主流はヒンドゥー教である。
問9	答え 2 一人当たりの国内総生産がタイやマレーシアより低く、安価で豊富な労働力を求めて多くの日本企業が進出した。	ベトナムは1986年のドイモイ政策導入により、社会主義の体制を維持しながら市場経済へと舵を切り、外資を積極的に受け入れてきました。タイやマレーシアなどの周辺国と比較すると、一人当たりの国内総生産はまだ低い段階にありますが、その分労働コストが抑えられるため、多くの日本企業が新たな生産拠点（工場）として進出を強めています。主な輸出相手国にはアメリカ、中国、日本が名を連ねており、世界的な製造拠点としての存在感を増しています。
問10	答え 2 ドバイ	アラブ首長国連邦（UAE）を構成する首長国の一つであり、砂漠地帯に位置しながらも、石油マネーをインフラ整備や観光資源へ積極的に投資することで世界的な観光・金融都市へと成長しました。特に高さ828メートルを誇るブルジュ・ハリファは、この都市の経済発展の象徴となっています。
問11	答え 2 域内の経済成長を促進し、政治的・社会的な安定や文化の発展を図る。	東南アジア諸国連合（ASEAN）は、地理的に近い東南アジア諸国が協力することで、国際的な競争力を高め、地域の平和と経済成長を目指す組織です。加盟国間の関税を原則として撤廃するなど、経済的な一体化を強く進めている点が特徴です。

- 問1 東南アジアの多くの地域で見られる「雨季」と「乾季」の仕組みと、それが自然環境に与える影響について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 季節風の影響で、特定の時期に海洋から湿った風が吹き込み降水量が急増するため、トンレサップ湖のように面積が数倍に拡大する湖が存在する。 | 2. 一年中西から東へと吹く偏西風がヒマラヤ山脈にぶつかること、山麓の地域のみに大量の降水をもたらす。下流の湖の面積を変動させる。 | 3. 数年おきに発生するエルニーニョ現象によって、雨季の時期だけ極端に海水温が上昇し、その水蒸気が供給されることで降水量が著しく増加する。 | 4. 一年を通じて赤道低圧帯の影響を受けるため、季節による降水量の変化はほとんどなく、湖の面積は年間を通じて一定に保たれる。 |
|---|---|---|--|
- 問2 東南アジアの諸都市における月平均気温の統計資料を確認したところ、多くの都市が5月から6月に最高気温を記録する一方で、ある特定の都市では8月の月平均気温が26.3度と、1年の中で最も低くなるという特徴が見られました。このような気候の特徴を持つ都市が位置する場所として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2025年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------|--------------|-------------------|-----------------|
| 1. インドネシアのジャワ島付近 | 2. マレー半島の先端部 | 3. ベトナムのインドシナ半島東部 | 4. フィリピンのルソン島北部 |
|------------------|--------------|-------------------|-----------------|
- 問3 日本とフィリピンの経済連携協定（EPA）における、具体的な取り組みとフィリピン側のメリットを組み合わせたものとして、適切なものはどれですか。 (2023年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. フィリピン産米の日本への輸出枠の拡大と、日本からの原子力発電技術の無償提供 | 2. 日本へのパナナ輸出に関する関税の撤廃と、日本からの看護・介護分野における技能習得支援 | 3. 日本企業のフィリピン国内での活動禁止と、フィリピン政府による日本円の独占的運用 | 4. 日本から輸入する自動車への関税の大幅な引き上げと、フィリピン国内の道路網整備の独占 |
|--|---|--|--|
- 問4 南アジアの気候的特徴において、夏にインド洋側から吹く季節風が、ヒマラヤ山脈に突き当たることでもたらされる地理的現象として最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 偏西風が山脈にぶつかること、季節に関わらず常に一定の降雨が山脈の北側にもたらされる。 | 2. 北から吹く冷たい季節風がインド洋の暖気と混ざり、年間を通じて気温の変化がなくなる。 | 3. 乾燥した空気が山脈を越えて吹き下ろすため、インド半島全域が一年中乾燥した気候になる。 | 4. 湿った空気が山脈に遮られるため、山脈の南側で降水量が多くなり、農業に欠かせない恵みとなる。 |
|---|--|---|--|
- 問5 インドにおいてIT産業が急速に発展した背景には、教育制度が大きく関わっています。その教育の特徴と産業への影響を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 高度な理数教育が行われており、数多くの優秀な技術者が育成された。 | 2. 伝統的な工芸技術を継承するため、徒弟制度による手工業教育を重視した。 | 3. 農村部における農業技術の向上を目指し、一次産業の教育に特化した。 | 4. 安価で単純な労働力を提供するため、初等教育のみに注力した。 |
|-------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|
- 問6 インドの生活文化に大きな影響を与えているヒンドゥー教において、自然環境であるガンジス川が人々の信仰の中で果たしている役割として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 唯一神から授かった聖地として、砂漠の中にある貴重な水源を管理するための厳しい戒律の象徴となっている。 | 2. 川そのものを神聖なものとして崇めており、水に浸かって罪を洗い流し心身を清める沐浴の場となっている。 | 3. 川の氾濫を鎮めるために、他の地域から伝わった仏教の教えに基づき、大規模な寺院を建立する中心地となっている。 | 4. 東南アジア諸国へ布教を行うための唯一の航路として、宗教儀礼に基づいた造船技術を発展させる場となっている。 |
|---|--|--|---|
- 問7 東南アジアの島嶼部（とうしょぶ）に位置する諸国の宗教分布について述べた文として、正しいものはどれですか。赤道付近に位置するインドネシアと、その北東に位置するフィリピンの歴史的背景を踏まえて選びなさい。 (2018年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. インドネシアではヒンドゥー教が最も多くの人々に信仰されており、フィリピンではプロテスタントが主流の宗教となっている。 | 2. インドネシアではスペインの植民地支配によってカトリックが広まり、フィリピンでは古くからイスラム教が国家の基盤となっている。 | 3. インドネシアでは交易の影響でイスラム教が広まっており、フィリピンではかつてのスペイン植民地時代の地縁からカトリックが広く信仰されている。 | 4. インドネシアでは仏教が国民の大部分によって信仰されており、フィリピンではかつてのオランダ植民地支配の影響でイスラム教が広がった。 |
|---|--|---|---|
- 問8 中国の沿海部に特定の開発地区が設置され、急速な工業化が進んだ背景とその特徴について述べた文として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 返還された香港やマカオにおいて、社会主義体制を即座に適用するために、沿海部全域を特別行政区として厳格に管理した。 | 2. 内陸部の貧困問題を解決することを第一の目的とし、広大な土地を活用するために経済特区を内陸の農村地帯に集中させた。 | 3. 海外からの資本や技術を導入して工業化を加速させるため、税制上の優遇措置などを設けた経済特区を沿海部に設置した。 | 4. 経済協力開発機構（OECD）への加盟を機に、先進国からの無償援助を受けるための拠点として沿海部の港湾都市を整備した。 |
|---|---|--|---|
- 問9 インドの地理的・文化的特色について述べた文として、宗教と産業の関係に着目した記述として正しいものはどれですか。 (2019年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. カースト制度の影響により、特定の身分以外の国民は動物から得られる乳製品を口にすることが禁じられている。 | 2. イスラム教徒が多いため、不浄とされる豚だけでなく、宗教上の理由から牛の飼育も一切行われていない。 | 3. ヒンドゥー教徒が多いため、牛を神聖視して牛肉の食用を避ける一方で、牛乳などの乳製品の生産が盛んである。 | 4. 仏教徒が人口の大部分を占めており、殺生を禁じる教えから、家畜を飼育する畜産業自体がほとんど行われていない。 |
|--|---|--|--|
- 問10 トルコの貿易に関する説明として、輸出統計資料の状況に基づいた記述として正しいものはどれですか。 (2020年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 地理的に隣接するイラクが最大の貿易相手国であり、輸出額の過半数を占めている。 | 2. 地中海対岸のイタリアが最大の輸出相手国であり、アジア諸国への輸出は行われていない。 | 3. 最大の輸出相手国はドイツであり、地理的に近いヨーロッパ諸国との経済的な結びつきが強い。 | 4. 歴史的に関係の深いイギリスが最大の輸出相手国であり、ドイツとの貿易額は極めて少ない。 |
|---|--|--|---|
- 問11 インドを中心に約12億人の信者を持ち、世界全体の宗教別人口割合においてキリスト教、イスラム教に次いで3番目に多い約15.2パーセントを占める宗教について、その特徴として正しい説明を選んでください。 (2026年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 唯一神アッラーを信仰し、ラマダーンと呼ばれる断食の期間や、聖地メッカへの礼拝を重視する。 | 2. 特定の神を持たず、厳しい修行を通じて悟りを開くことを目指し、東南アジアや東アジアに広がった。 | 3. イエスを救い主として信じ、世界で最も多い約31.1パーセントの人口割合を占めている。 | 4. 牛を神の使いとして大切にすため牛肉を食べない習慣があり、ガンジス川での沐浴を重視する。 |
|---|---|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 季節風の影響で、特定の時期に海洋から湿った風が吹き込み降水量が急増するため、トンレサップ湖のように面積が数倍に拡大する湖が存在する。	東南アジアの地理的特徴として、季節風（モンスーン）による降水量の劇的な変化が挙げられます。カンボジアのプノンベン近郊などでは、夏から秋にかけての雨季に降水量が集中します。この気候メカニズムによって、トンレサップ湖では4月の約3,300km ² から10月の約11,600km ² へと、季節によって湖の姿が大きく変わる環境が形作られています。選択肢にある偏西風は主に日本などの中緯度帯に影響を与える風であり、エルニーニョ現象は周期的な異常気象を指すため、毎年の安定した季節サイクルを説明するものではありません。
問2	答え 1 インドネシアのジャワ島付近	東南アジアの大部分は北半球に位置していますが、インドネシアのジャワ島などは赤道よりも南の「南半球」に位置しています。南半球では北半球と季節が逆転するため、日本などの北半球の国々が夏季を迎える8月頃に、1年の中で最も気温が低くなる時期（冬に相当する時期）を迎えるという特徴があります。
問3	答え 2 日本へのバナナ輸出に関する関税の撤廃と、日本からの看護・介護分野における技能習得支援	EPAは物品の関税だけでなく、サービスや人の移動も対象としています。フィリピン側の具体的なメリットとしては、主要な輸出品目であるバナナの関税がなくなることによる輸出拡大や、看護師・介護福祉士候補者が来日して日本の知識や技能を学ぶ支援を受けられることが挙げられます。これにより、フィリピンの経済活性化と人材育成が図られています。
問4	答え 4 湿った空気が山脈に遮られるため、山脈の南側で降水量が多くなり、農業に欠かせない恵みとなる。	インド洋から北上してくる夏の季節風は大量の水蒸気を含んでいます。これがヒマラヤ山脈に突き当たると、強制的に上昇させられて雲が発達し、山脈の南側に位置する地域に世界的な多雨地帯を形成します。この降水パターンは、インドなどの南アジア諸国における生活様式や農業（特に稲作）に深く結びついています。
問5	答え 1 高度な理数教育が行われており、数多くの優秀な技術者が育成された。	インドでは国を挙げて理数教育に力を入れており、世界的に通用する高い能力を持ったエンジニアを多く輩出しています。この教育水準の高さが、ソフトウェア開発などの高度な知識を必要とするIT産業の発展を支える土台となりました。これに加えて、英語が公用語の一つであることや、アメリカとの時差が業務の効率化に有利であったことも発展の要因です。
問6	答え 2 川そのものを神聖なものとして崇めており、水に浸かって罪を洗い流し心身を清める沐浴の場となっている。	ヒンドゥー教徒にとってガンジス川は、女神が地上に降りてきたものとされ、非常に神聖視されています。この川で「沐浴」をすることで、現世の罪が浄化されると信じられており、宗教的な儀式としてだけでなく、人々の生活の一部として深く根付いています。これは宗教が特定の地形や自然環境と密接に関わっている地理的な事例の一つです。
問7	答え 3 インドネシアでは交易の影響でイスラム教が広まっており、フィリピンではかつてのスペイン植民地時代の地縁からカトリックが広く信仰されている。	東南アジアの宗教分布は、歴史的な背景と深く結びついています。インドネシアは中世以降の海上交易を通じてイスラム教が浸透し、現在は世界最大のイスラム教徒人口を抱える国となっています。一方、フィリピンは16世紀から後半から約300年間にわたってスペインの植民地支配を受けたため、東南アジアの中では例外的にキリスト教のカトリックが広く普及しました。オランダは主にインドネシアを植民地化しましたが、宗教的な影響はスペインほど強く残りませんでした。
問8	答え 3 海外からの資本や技術を導入して工業化を加速させるため、税制上の優遇措置などを設けた経済特区を沿海部に設置した。	中国は「改革・開放」政策により、外国企業を誘致して経済成長を図る道を選びました。地理的に輸出入に有利な沿海部に経済特区を設置し、外国からの投資を促進した結果、中国は「世界の工場」と呼ばれるまでに工業化を遂げました。この政策は、中国の経済成長に大きく寄与した一方で、発展した沿海部と発展が遅れた内陸部との間での経済格差（所得格差）を生む要因の一つにもなりました。
問9	答え 3 ヒンドゥー教徒が多いため、牛を神聖視して牛肉の食用を避ける一方で、牛乳などの乳製品の生産が盛んである。	インドは世界的な牛乳の生産国ですが、これは人口の多数を占めるヒンドゥー教徒が、牛を神聖な生き物として大切にしている文化を持っていることに関連しています。ヒンドゥー教では牛肉の摂取は禁忌とされますが、乳製品は生活に欠かせないものとなっています。地理の学習においては、西アジアで豚肉の食用を避けるイスラム教の文化と対比させて理解しておくことが重要です。
問10	答え 3 最大の輸出相手国はドイツであり、地理的に近いヨーロッパ諸国との経済的な結びつきが強い。	トルコは地理的にヨーロッパに近く、経済的な面でもヨーロッパ諸国と密接な関係にあります。実際の輸出統計においても、ドイツが輸出額全体の9.3パーセントを占める最大の輸出相手国となっており、欧州連合（EU）諸国との活発な貿易がトルコ経済を支える重要な要素となっています。
問11	答え 4 牛を神の使いとして大切にするため牛肉を食べない習慣があり、ガンジス川での沐浴を重視する。	ヒンドゥー教はインドの人口の多くを占める宗教であり、牛を聖なるものとして崇めるため牛肉を食べないという強い食のタブーがあります。また、ガンジス川は聖なる川とされており、そこで身を清める「沐浴（もくよく）」が日常的に行われています。世界全体の統計では、キリスト教（約31.1%）、イスラム教（約24.9%）に次ぐ規模となっています。

- 問1 世界の小麦と米の生産状況について、2014年の統計資料に基づいた説明として最も適切なものはどれか選びなさい。（2018年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 小麦の生産量で17.3%、米の生産量で27.9%を占めていずれも世界1位である中国は、巨大な人口を抱えるため国内消費量も多い。 | 2. 乾燥した気候に適した小麦はオーストラリアやフランスが世界1位と2位を占め、温暖湿潤な気候に適した米は中国とインドが上位を占める。 | 3. 小麦の生産量において第3位のロシアや第4位のアメリカ合衆国は、米の生産量においても世界1位または2位を占めている。 | 4. 米の生産量で上位4位に入るインドネシアやバングラデシュは、同様に小麦の生産量においても世界トップクラスである。 |
|--|---|--|--|
- 問2 アジア太平洋経済協力（APEC）に加盟している国々を示した資料において、日本、アメリカ合衆国、オーストラリアとともに国名が挙げられている場合がありますが、次のうち、実際にはAPECに加盟していない国はどれですか。（2023年 京都府公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|------------|------------|---------|
| 1. 日本 | 2. アメリカ合衆国 | 3. オーストラリア | 4. ブラジル |
|-------|------------|------------|---------|
- 問3 南アジアに位置するインドにおいて、全人口の約80%という圧倒的な割合を占め、人々の生活様式や文化に深く結びついている宗教の名称として正しいものを選択してください。（2021年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|-----------|-------|----------|
| 1. イスラム教 | 2. ヒンドゥー教 | 3. 仏教 | 4. キリスト教 |
|----------|-----------|-------|----------|
- 問4 中国では、1970年代後半から「改革・開放」政策が進められ、広東省のシェンチェン（深セン）をはじめとする南部の沿海部に、外国企業の進出や資本・技術の導入を優遇する地域が設けられました。この地域の名称とその設置目的の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。（2018年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---------------------------------------|---|--|
| 1. 人民公社 — 土地を国有化し、大規模な集団農業によって農作物の増産を図るため | 2. 自治区 — 少数民族の独自の文化を保護し、伝統的な生活を維持するため | 3. 経済特区 — 内陸部の農村から沿海部への人口流入を阻止し、食料自給率を高めるため | 4. 経済特区 — 外国企業の進出や資本・技術を受け入れ、経済を活性化させるため |
|---|---------------------------------------|---|--|
- 問5 ベトナム政府による外国からの投資を促す政策の内容や、同国への外国企業による投資額の推移をまとめた資料によると、近年、投資額が著しく増加している傾向が見て取れます。このような変化が起きた背景にある、ベトナム政府の経済政策の狙いを説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2023年 宮城県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国以外からの投資を法律で禁止し、域内での経済協力のみに限定した。 | 2. 経済成長に不可欠な外貨や技術を導入するため、外国企業の誘致に向けた環境整備を充実させた。 | 3. 国内企業が国際競争に巻き込まれないよう、外国企業の進出を制限する保護貿易政策を強化した。 | 4. 伝統的な農業を輸出の柱に据えるため、工業への投資を減らして農村部のインフラ整備を最優先した。 |
|---|---|---|---|
- 問6 日本とASEAN加盟国の間には時差が存在します。日本の標準時子午線は東経135度ですが、タイなどは東経105度を標準時としています。この経度の差から生じる、日本とタイの時差と時間の進み方についての説明として正しいものを次から選びなさい。（2024年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--------------------------------------|--|--|
| 1. 緯度の差が大きいので、季節によって時差が変動し、夏の間だけタイの時刻が日本より3時間遅れる | 2. 日本とタイはほぼ同じ経線上に位置しているため、時差は全く発生しない | 3. 経度差が15度あるため1時間の時差が生じ、日本より東にあるタイの時刻は日本より1時間進んでいる | 4. 経度差が30度あるため2時間の時差が生じ、日本より西にあるタイの時刻は日本より2時間遅れている |
|--|--------------------------------------|--|--|
- 問7 東南アジアなどの温暖な地域で広く行われている、同じ土地において1年のうちに同じ農作物（主に稲）を2回収穫する栽培方法を何といいいますか。（2021年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|---------|-------|
| 1. 二期作 | 2. 二毛作 | 3. 促成栽培 | 4. 転作 |
|--------|--------|---------|-------|
- 問8 タイの工業化が進化した背景について、輸出統計において自動車が大きな割合を占め、その生産の約8割を日本企業が担っているという状況から推察される、経済的な仕組みとして正しいものを次の中から選びなさい。（2019年 高知県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 輸出を制限することで国内での消費を優先させ、伝統的な手工業の保護を最優先する経済政策をとった。 | 2. 日本などの外国企業からの直接投資を積極的に受け入れることで、国内に多くの工場が建設され工業化が進んだ。 | 3. 自国内の資源を有効活用するために、特定の農産物のみを生産するモノカルチャー経済への依存を強めた。 | 4. 海外からの輸入を制限し、国内市場向けの製品のみを製造する輸入代替型の工業化を国家戦略の軸とした。 |
|--|--|---|---|
- 問9 西アジアなどの産油国では、原油価格の変動が国内総生産（GDP）の増減に直接的な影響を与えることが多くあります。このように、特定の天然資源の輸出に経済を過度に依存している産業構造を背景として、価格の下落時に懸念される事態を説明したものを選びなさい。（2016年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 1. 輸出による外貨収入が減少し、国家予算の不足や経済成長の鈍化を招く | 2. 資源の希少価値が高まるため、代替産業である農業が急速に発展する | 3. 資源以外の産業が十分に自立しているため、経済全体への影響はほとんどない | 4. 輸入に頼る生活物資の価格が下がり、国民の生活水準が大幅に向上する |
|-------------------------------------|------------------------------------|--|-------------------------------------|
- 問10 世界全体の農産物生産量を示すデータにおいて、アジア州が約9割近くを占める「米」や「茶」のほかに、東南アジアなどでプランテーション（大規模農園）を中心に栽培され、世界生産の多くを占めている作物はどれですか。（2025年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| 1. てんさい | 2. オリーブ | 3. 天然ゴム | 4. ブドウ |
|---------|---------|---------|--------|
- 問11 南アジアでは、半年ごとに風向きが変化する季節風（モンスーン）の影響を強く受けます。夏にインド洋からヒマラヤ山脈に向かって吹く湿った風が多くの雨をもたらすことを利用して、ガンジス川の中・下流域で盛んに栽培されている農作物を次の中から選びなさい。（2024年 宮城県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|---------|------|-------|
| 1. 小麦 | 2. コーヒー | 3. 米 | 4. 綿花 |
|-------|---------|------|-------|
- 問12 乗用車の生産体制について、日本と、新興国であるインドやブラジルの状況を比較した説明として最も適切なものはどれですか。2016年の統計資料によると、日本の生産上位5社はすべて自国（日本系）企業で占められていますが、インドやブラジルにはこれとは異なる特徴が見られます。（2019年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. インドでは、上位5社のほとんどをアメリカやイタリアなどの欧州企業のみが占めている。 | 2. ブラジルでは、日本系企業が進出しておらず、自国企業と韓国系企業のみで生産が行われている。 | 3. インドやブラジルでは、自国の産業を保護するため、自国メーカーのみで生産を行っている。 | 4. インドやブラジルでは、日本系、韓国系、ドイツ系などの外国資本の企業による生産の割合が高い。 |
|--|---|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 小麦の生産量で17.3%、米の生産量で27.9%を占めていずれも世界1位である中国は、巨大な人口を抱えるため国内消費量も多い。	中国とインドは、世界の主要な主食である小麦と米の両方で世界トップの生産量を誇りますが、これは自国の人口が多いため国内での需要が極めて高いことが背景にあります。一方で、ロシアやアメリカ合衆国は小麦の生産量が多いものの米の生産順位は高くなく、逆にインドネシアやバングラデシュは米の生産は盛んですが小麦の生産量は上位には含まれません。
問2	答え 4 ブラジル	APECは「アジア太平洋」地域の経済協力を目的とした組織です。日本、アメリカ合衆国、オーストラリアはいずれも太平洋に面しており加盟していますが、ブラジルは南アメリカ大陸の東側に位置し、大西洋に面しているため、この枠組みには含まれていません。地域協力の組織を考える際は、その国の地理的条件を確認することが重要です。
問3	答え 2 ヒンドゥー教	インドでは古くからの伝統や習慣が体系化されたヒンドゥー教が、人口の約8割を占める最大の宗教となっています。カースト制度に由来する社会慣習や、牛を神聖視する食文化、ガンジス川での沐浴など、インドの人々の生活の基盤となっています。
問4	答え 4 経済特区 ― 外国企業の進出や資本・技術を受け入れ、経済を活性化させるため	中国は1978年からの「改革・開放」政策により、市場経済の導入を図りました。その一環として、外国からの投資や技術呼び込むために設置されたのが経済特区です。これにより、シェンチェンなどの沿海部は急速な発展を遂げ、中国は「世界の工場」と呼ばれるほどの工業成長を達成しました。
問5	答え 2 経済成長に不可欠な外貨や技術を導入するため、外国企業の誘致に向けた環境整備を充実させた。	ベトナム政府は、自国の経済発展を加速させるために必要な資金（外貨）や高度な技術を海外から導入することを目指しました。そのため、外国企業が活動しやすい環境を整える「工業団地」の整備や「税金の免除」といった積極的な誘致政策を展開しました。その結果、製造業を中心とした多くの「外国企業」がベトナムへ進出し、輸出額の増大や雇用の創出につながり、統計上の「投資」額も右肩上がりで推移することとなりました。
問6	答え 4 経度差が30度あるため2時間の時差が生じ、日本より西にあるタイの時刻は日本より2時間遅れている	時差は経度15度につき1時間生じます。日本の東経135度とタイの東経105度の差は30度であるため、 $30 \div 15 = 2$ 時間の時差が発生します。地球は東から順に夜明けを迎えるため、より西に位置するタイは日本よりも時刻が2時間遅れることになります。緯度は気候には影響しますが、時差の計算には関係しません。
問7	答え 1 二期作	温暖な気候を利用して、同じ土地で年2回、同じ作物（稲など）を育てる仕組みを指します。一方、同じ土地で1年のうちに異なる2種類の作物（例：米と麦）を育てる場合は「二毛作」と呼ばれ、これらは入試で非常によく比較されるため区別が必要です。また、別の作物に作り替えることは「転作」、成長を早めて出荷時期をずらす工夫は「促成栽培」と呼ばれます。
問8	答え 2 日本などの外国企業からの直接投資を積極的に受け入れることで、国内に多くの工場が建設され工業化が進んだ。	タイの工業化は、日本をはじめとする外国企業が現地に資本を投じ、工場を建設して生産活動を行う「直接投資」によって急速に進展しました。特に自動車産業においては日本のメーカーが生産の大部分を占めており、タイは世界的な輸出拠点としての役割を果たすようになっていきます。
問9	答え 1 輸出による外貨収入が減少し、国家予算の不足や経済成長の鈍化を招く	産油国の多くは、国の収入の大部分を原油の輸出に頼るモノカルチャー経済に近い構造を持っています。そのため、国際市場で原油価格が下がると、国に入ってくる資金が大幅に減り、インフラ整備や社会福祉といった公共サービスの停滞、経済成長のマイナス化といった深刻な影響を受けることになります。このため、近年では観光や金融など、資源に頼らない産業の多角化が課題となっています。
問10	答え 3 天然ゴム	タイやインドネシア、ベトナムなどの東南アジア諸国では、熱帯の気候を活かして天然ゴムの生産が盛んに行われています。もともとは植民地時代に開かれたプランテーションで栽培が始まりましたが、現在でもアジア州は天然ゴムの世界生産において圧倒的なシェアを維持しています。オリーブやブドウは主に地中海性気候の地域で栽培される作物です。
問11	答え 3 米	南アジアのガンジス川流域では、夏の季節風（モンスーン）がインド洋から湿った空気を運ぶため、非常に降水量が多くなります。稲の生育には大量の水を必要とするため、この気候特性を活かして米の栽培が盛んに行われています。一方、より乾燥した地域や降水量の少ないインダス川流域などでは小麦の栽培が中心となります。
問12	答え 4 インドやブラジルでは、日本系、韓国系、ドイツ系などの外国資本の企業による生産の割合が高い。	インドやブラジルといった新興国における工業化は、先進国の多国籍企業による直接投資や現地工場の設立によって進展してきた歴史があります。そのため、自国メーカーが中心となって生産を行う日本などの先進国とは異なり、外国資本の企業が生産シェアの多くを占めるという特徴があります。特にインドでは日本系や韓国系企業、ブラジルではドイツやアメリカ、イタリア、日本などの企業が生産上位に名を連ねています。

- 問1 パソコンやスマートフォンの生産額で世界シェアの多くを占め、「世界の工場」とも呼ばれる国に関する説明として、人口問題の観点から正しいものを選択肢から選びなさい。（2023年 高知県公立入試 類似）
1. 先進国からの移民を大量に受け入れることで、ハイテク産業の労働力を補っている。
 2. 多民族国家としての調和を優先し、特定の民族に対する人口制限を強化している。
 3. かつて強力な人口抑制策をとっていたが、現在は労働力確保のために少子化対策へと方針を転換している。
 4. 広大な国土を開発するため、一貫して人口増加を奨励する政策をとり続けている。
- 問2 アフリカ諸国の輸出統計において、コートジボワールのカカオ豆（約21%）、ケニアの茶（約22%）、エチオピアのコーヒー豆（約30%）のように、特定の農産物が輸出総額の多くを占めることがあります。このような輸出用の作物を大規模に生産する農業形態の特徴として正しいものはどれですか。（2017年 佐賀県公立入試 類似）
1. 家族労働を中心に、自分たちが食べるための穀物を小規模に生産する。
 2. 乾燥帯において、わずかな水源を利用して小麦や綿花を栽培する。
 3. 家畜の飼育と、その飼料となる作物の栽培を組み合わせた経営を行う。
 4. 安価な労働力を使い、特定の作物を大規模に栽培する大農園方式である。
- 問3 東南アジアや南アジアで見られる季節風（モンスーン）について、夏季における風の向きと、それが地域の気候に与える影響を正しく説明したものはどれですか。（2024年 群馬県公立入試 類似）
1. 北極や南極などの高緯度地域から赤道に向かって吹き、年間を通じて地域の気温を大幅に低下させる
 2. 海から陸に向かって吹き、湿った空気を運ぶため、多くの降水をもたらす雨季の原因となる
 3. 中緯度地帯の上空を一年中西から東に向かって吹き、天気を西から東へと周期的に変化させる
 4. 陸から海に向かって吹き、乾燥した空気を運ぶため、雨の少ない乾季の原因となる
- 問4 南アジア諸国の工業について、インド、パキスタン、スリランカの3か国を比較したとき、インドの工業出荷額とその構成に関する説明として最も適切なものはどれですか。なお、2018年時点のインドの工業出荷額は約1兆2966億ドルであり、周辺諸国と比べて突出した規模となっています。（2024年 宮城県公立入試 類似）
1. 工業出荷額の規模は大きいものの、出荷額の内訳ではスリランカよりも食料品工業の金額が少ない。
 2. 繊維工業や食料品工業などの軽工業が中心であり、重化学工業の割合は全体の3割に満たない。
 3. 周辺諸国と比較して食料品工業の割合が最も高く、重化学工業よりも農産物加工が優先されている。
 4. 石油製品、化学、金属、機械といった重化学工業の割合を合計すると、全体の6割を超えている。
- 問5 ユーラシア大陸の構成と特徴について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2026年 岐阜県公立入試 類似）
1. ヨーロッパ州と北アメリカ州を合わせた名称であり、赤道が大陸の中央を通過している。
 2. アジア州のみを指す名称であり、六大陸の中で最も人口密度が低い大陸である。
 3. アジア州とアフリカ州を合わせた名称であり、本初子午線が通る唯一の大陸である。
 4. アジア州とヨーロッパ州を合わせた名称であり、地球上の陸地の中で最大の面積を持つ。
- 問6 日本とある東南アジアの国との貿易統計において、1999年から2019年の20年間で輸入総額が約2倍に増加し、主な品目に電気機器や金属鉱、相手国にアメリカ・日本・中国が並ぶ国があります。この国において、近年、海外企業のコールセンターといったサービス業が急速に発展している主な背景として適切なものはどれですか。（2022年 東京都公立入試 類似）
1. 英語が公用語の一つであり、比較的安価で豊富な労働力を活用できるため
 2. 広大な土地を利用した大規模な機械化農業により、小麦の輸出が盛んなため
 3. APECに加盟していないため、独自の関税政策で国内産業を保護しているため
 4. スペイン語が共通語として広く普及しており、中南米諸国との連携が容易なため
- 問7 モンゴルの草原では、伝統的に「ゲル」と呼ばれる白い円形の移動式住居が使用されています。この住居が、簡単に組み立てや解体ができる構造になっている理由として最も適切なものはどれですか。（2016年 大阪府公立入試 類似）
1. 砂漠化を防ぐために、政府によって同じ場所に3日以上滞在することが禁じられているため。
 2. 永久凍土の層が厚いため、地面を掘って基礎を築くことができないため。
 3. 森林資源が豊富なため、周囲にある大量の木材を使い捨てにしながら移動するため。
 4. 家畜の餌となる草や水を求めて、季節ごとに場所を移動しながら生活するため。
- 問8 アジアとヨーロッパの境界に位置するトルコでは、古くから東西を結ぶ陸上交易ルートの要所として発展してきた歴史があります。このような地理的条件がトルコの文化に与えた影響について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2020年 愛知県公立入試 類似）
1. アジアとヨーロッパの食文化が融合し、羊肉やヨーグルトなどを活用した独自の料理が発展した。
 2. 周囲を広大な砂漠に囲まれているため、他地域の文化が混ざることなく純粋な伝統文化が維持された。
 3. 四方を海に囲まれた島国であるため、大陸の食文化の影響を受けずに独自の海洋文化が形成された。
 4. アジアから伝来した稲作文化のみが定着し、パンを主食とするヨーロッパの食文化は全く浸透しなかった。
- 問9 インドネシアの首都では、2000年に約800万人だった人口が2030年には1200万人を上回ることが予測されるなど、急速な人口増加が続いています。このような都市化に伴って発生している深刻な社会課題と、その解決のために進められている取り組みの組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 熊本県公立入試 類似）
1. 周辺地域での砂漠化の進行を食い止めるため、都市部から農村部への大規模な運河建設と植林を行っている。
 2. 自動車の普及による深刻な交通渋滞を解消するため、高架鉄道などの公共交通機関を建設している。
 3. 都市への一極集中を抑制するため、地方における大規模な工業団地の造成と、都市住民の強制的な移住政策を強めている。
 4. 少子高齢化による深刻な労働力不足を補うため、都市部におけるサービス業の自動化と外国人労働者の受け入れを推進している。
- 問10 世界の諸地域の土地利用について述べた次の文のうち、インドの大きな特徴として正しいものはどれですか。主要な国々の土地利用を比較した統計において、インドは農地面積約1億7960万ヘクタールのうち、その大部分である約1億6936万ヘクタールを特定の用途が占めており、これは他国と比較しても際立って高い割合となっています。（2019年 埼玉県公立入試 類似）
1. 砂漠や氷雪地などの非農耕地
 2. 森林としての利用
 3. 耕地・樹園地としての利用
 4. 牧草地・放牧地としての利用
- 問11 アラビア半島を中心とする西アジアの国々では、広大な砂漠が広がる一方で、近年では高層ビルが立ち並び近代的な都市が建設されています。このような変化の背景と、現在の産業の動向について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 埼玉県公立入試 類似）
1. 石油の輸出で得た豊富な資金を背景に、都市の基盤整備を進めるとともに、将来の資源枯渇を見据えて観光開発などにも力を入れている。
 2. 沿岸部に多くの水上集落を建設することで、厳しい砂漠の気候を避けた生活を送り、伝統的な漁業を国の経済の中心に据えている。
 3. 雨季と乾季の交代に合わせた大規模な治水工事を行い、砂漠を広大な水田地帯に変えることで、農産物の輸出を主産業としている。
 4. 海外からの多額の経済援助をもとに、砂漠全域を森林化するプロジェクトを完了させ、現在は木材の輸出を最大の収益源としている。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 かつて強力な人口抑制策をとっていたが、現在は労働力確保のために少子化対策へと方針を転換している。	2015年時点の統計でパソコンやスマートフォンの世界生産シェアが極めて高い中国は、豊富な労働力を武器に工業化を進めてきました。しかし、1970年代末からの「一人っ子政策」の影響で現役世代が減少に転じるという課題に直面しました。そのため、政府は2010年代半ばから段階的に制限を緩和し、現在は出産を奨励する少子化対策へと舵を切っています。
問2	答え 4 安価な労働力を使い、特定の作物を大規模に栽培する大農園方式である。	コートジボワールやケニアなどの例は、プランテーションで生産された商品作物が国の経済を支えている状況を示しています。この方式は、特定の作物の国際価格の変動が国の経済に大きな影響を与えやすいという課題を抱えています。
問3	答え 2 海から陸に向かって吹き、湿った空気を運ぶため、多くの降水をもたらす雨季の原因となる	アジアのモンスーン地帯では、夏になるとインド洋などの海から温まった大陸に向かって季節風が吹きます。この風は海上の湿った空気を大量に運び込むため、この時期は降水量の多い雨季となります。選択肢にある「西から東に向かって吹く風」は偏西風の説明であり、季節によって向きが変わる季節風とは異なります。
問4	答え 4 石油製品、化学、金属、機械といった重化学工業の割合を合計すると、全体の6割を超えている。	インドは南アジアの中で圧倒的な工業規模を誇っており、その産業構造は高度化しています。2018年の統計によれば、機械（21.8%）、金属（17.2%）、化学（13.1%）、石油製品（12.8%）となっており、これら重化学工業に該当する分野の合計が約64.9%と、全体の6割以上を占めているのが大きな特徴です。繊維工業などが中心となる周辺諸国とは、工業の構造が大きく異なります。
問5	答え 4 アジア州とヨーロッパ州を合わせた名称であり、地球上の陸地の中で最大の面積を持つ。	ユーラシアという名称は「ヨーロッパ」と「アジア」を合成した造語です。地理的には一つの地続きの陸塊ですが、歴史的・文化的な背景が異なるため二つの州に区分されています。面積は他の大陸と比較しても最大であり、世界の陸地面積の約40%近くを占めています。
問6	答え 1 英語が公用語の一つであり、比較的安価で豊富な労働力を活用できるため	フィリピンはかつてアメリカの統治下にあった歴史的背景から英語が公用語となっており、欧米企業が顧客対応を行うコールセンターの拠点として選ばれる要因となっています。また、1億人を超える人口背景による労働コストの優位性も、サービス業や電気機器などの製造業の発展を支えています。
問7	答え 4 家畜の餌となる草や水を求めて、季節ごとに場所を移動しながら生活する必要があるため。	遊牧という生活形態は、自然環境に合わせて家畜とともに移動し続けることが前提となっています。そのため、住居には「軽量であること」「短時間で解体・組み立てができること」が求められます。ゲルは木製の骨組みと家畜の毛から作ったフェルトで構成されており、遊牧民の合理的な知恵が詰まった住居といえます。
問8	答え 1 アジアとヨーロッパの食文化が融合し、羊肉やヨーグルトなどを活用した独自の料理が発展した。	トルコは小アジア半島（アナトリア半島）を中心とした地域に位置し、アジアとヨーロッパを結ぶ交通の要所として栄えてきました。この地理的背景により、東のアジア系民族の伝統と西のヨーロッパの文化が混ざり合い、食文化においても羊肉やヨーグルトを用いるなど、両地域の要素が組み合わさった世界的に有名な食文化が形成されました。
問9	答え 2 自動車の普及による深刻な交通渋滞を解消するため、高架鉄道などの公共交通機関を建設している。	インドネシアのジャカルタなどの大都市では、経済発展と急速な人口増加に伴って自動車やバイクが普及した結果、激しい交通渋滞が大きな社会問題となっています。この問題は経済活動の停滞や大気汚染を引き起こすため、対策として道路の混雑に左右されない高架鉄道や地下鉄といった公共交通機関の整備が急ピッチで進められています。選択肢にある砂漠化や高齢化による労働力不足は、現在のインドネシアの主要な都市課題とは異なります。
問10	答え 3 耕地・樹園地としての利用	インドは世界有数の農業国であり、国土面積に占める農地面積の割合が非常に高いのが特徴です。特に、農地の中でも家畜を飼育するための牧草地などではなく、作物を栽培するための「耕地・樹園地」が大部分を占めている点が他国にはない強みです。これは、広大なヒンズースタン平原やデカン高原など、耕作に適した地形とモンスーンによる降水がもたらす恵みを活用し、古くから多くの人口を支えるための食料生産を行ってきた背景があります。
問11	答え 1 石油の輸出で得た豊富な資金を背景に、都市の基盤整備を進めるとともに、将来の資源枯渇を見据えて観光開発などにも力を入れている。	西アジアのアラビア半島周辺の国々では、埋蔵されている豊富な石油（原油）の輸出によって莫大な資金を獲得してきました。この資金を投入して、かつては砂漠だった場所に冷暖房の完備された高層ビルや道路などのインフラを整備し、急速な近代化を成し遂げました。近年では、石油資源が将来的に枯渇することや、世界的な脱炭素の動きを考慮し、石油依存からの脱却を目指してドバイなどの都市を中心に観光開発や金融ビジネスにも注力しています。

問1 世界の諸地域の統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり400人を超え、国土面積に占める農地の割合が5割を上回るという特徴を持つ国と、人口密度が1平方キロメートルあたり30人未満と低く、アマゾン川流域を中心に国土の約6割弱が森林に覆われているという特徴を持つ国の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2021年 熊本県公立入試 類似)

1. インドと南アフリカ共和国 2. インドとブラジル 3. 中国とロシア 4. 中国とブラジル

問2 1980年代から2010年代にかけて、ベトナムやインドネシア、マレーシアなどの東南アジア諸国で見られた輸出品目の構成変化に関する説明として、最も適切なものはどれですか。かつての主要な輸出品と、近年の動向を踏まえて答えなさい。 (2023年 佐賀県公立入試 類似)

1. 伝統的なモノカルチャー経済を維持するため、農産物や鉱産資源の輸出割合を1980年当時よりもさらに高めた。
2. 工業化を断念し、観光業などのサービス業を経済の中心に据えたため、工業製品の輸出割合は1980年当時よりも低下した。
3. 自国内の消費が増えたため、農産物や鉱産資源の輸出を制限し、重化学工業製品の輸入を大幅に増やした。
4. 外国企業の誘致などによって、衣類や電気機器などの工業製品の輸出割合が増大し、工業国へと移行している。

問3 中国の統計において、1人当たり域内総生産が6万円を超える地域は沿海部の行政区に集中しており、こうした地域には経済特区も設置されています。このような経済発展に伴って生じた、中国国内における労働力の移動に関する説明として、最も適切なものはどれか。 (2018年 茨城県公立入試 類似)

1. より高い賃金を求め、内陸部の農村から沿海部の都市へ向けて大量の労働力が移動した
2. 沿海部の労働力不足を補うため、東南アジアの諸国から大量の出稼ぎ労働者が流入した
3. 内陸部の経済発展を優先するため、沿海部の工場がすべて内陸部へ移転し、都市労働者も移動した
4. 沿海部の所得が高くなりすぎたため、政府の命令により都市住民が内陸部の農村へ移動した

問4 世界の諸地域の特徴について述べた次の文のうち、アラビア半島周辺に位置する産油国の特徴について正しく説明しているものはどれですか。 (2023年 高知県公立入試 類似)

1. 乾燥帯に属しており、原油の輸出によって得た利益をもとに、近年は金融や観光などの産業にも力を入れて近代都市を形成している。
2. 熱帯の広大な森林を切り開いて得た地下資源の輸出により、特定の沿岸部に人口が集中するメガロポリスを形成している。
3. ユーラシア大陸の内陸部に位置し、旧ソ連時代から続く重化学工業と、カスピ海周辺での海洋資源開発を組み合わせで発展している。
4. 地中海に面した北アフリカの産油国として、ヨーロッパ諸国へのパイプラインを通じた天然ガス供給を主軸に経済成長を続けている。

問5 南アジアに位置するインドにおいて、国民の約8割という最も多くの人々に信仰され、人々の生活や文化、さらには社会制度の歴史に深く根付いている宗教は何か。 (2024年 山形県公立入試 類似)

1. ヒンドゥー教 2. キリスト教 3. 仏教 4. イスラム教

問6 世界を6つの州に区分した際、日本や中国、インドなどが位置しており、東南アジアの国々も含まれる州はどこか。 (2018年 北海道公立入試 類似)

1. ヨーロッパ州 2. オセアニア州 3. アジア州 4. 北アメリカ州

問7 南アジアの国々の統計を示した資料において、人口密度が1平方キロメートルあたり330人を超え、主な輸出品目の1位が衣類、2位が茶となっている島国はどこですか。 (2024年 新潟県公立入試 類似)

1. バングラデシュ 2. スリランカ 3. パキスタン 4. インド

問8 フィリピンなどの東南アジアで見られる気候について、年間降水量が1500ミリメートル以上に達し、一年中気温が高い状態が続く理由を地理的な背景から説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 奈良県公立入試 類似)

1. 高緯度地域から流れてくる寒流の影響によって、海水の蒸発が抑制され雲が発生しにくいから。
2. ユーラシア大陸の内陸部に位置しているため、季節風が遮られ気温が上昇しやすいから。
3. 中緯度高圧帯の影響を強く受け、年間を通じて乾燥した空気が上空から吹き降りてくるから。
4. 赤道に近い低緯度のため、強い日差しによって空気が暖められて上昇気流が発生しやすいから。

問9 モンゴルの草原では、伝統的に「ゲル」と呼ばれる白い円形の移動式住居が使用されています。この住居が、簡単に組み立てや解体ができる構造になっている理由として最も適切なものはどれですか。 (2016年 大阪府公立入試 類似)

1. 永久凍土の層が厚いため、地面を掘って基礎を築くことができないため。
2. 森林資源が豊富なため、周囲にある大量の木材を使い捨てにしながら移動するため。
3. 家畜の餌となる草や水を求めて、季節ごとに場所を移動しながら生活する必要があるため。
4. 砂漠化を防ぐために、政府によって同じ場所に3日以上滞在することが禁じられているため。

問10 オーストラリアの貿易相手国の変化について、1965年と2015年の状況を比較した説明として、正しい内容を述べているものを選びなさい。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)

1. 1965年にはイギリスやアメリカ合衆国などの欧米諸国が貿易の上位を占めていたが、2015年には中国や日本などのアジア州の国々が上位となった。
2. 1965年には北アメリカ州の国々との貿易が中心であったが、2015年には地理的に隣接するニューージーランドなどのオセアニア州内での貿易が全体の過半数を占めるようになった。
3. 1965年にはアジア州の国々が主な輸出先であったが、2015年には工業製品の輸入を増やすため、イギリスを中心としたヨーロッパ州との貿易が主流になった。
4. 1965年から一貫して中国が最大の貿易相手国であり、2015年には日本や韓国を合わせたアジア州全体との貿易額がさらに増加した。

問11 南アジアに位置するインドにおいて、全人口の約80%という圧倒的な割合を占め、人々の生活様式や文化に深く結びついている宗教の名称として正しいものを選択してください。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)

1. 仏教 2. キリスト教 3. ヒンドゥー教 4. イスラム教

問12 アラブ首長国連邦 (UAE) の輸出統計を確認すると、かつて大半を占めていた石油関連以外の品目の割合が増加しています。また、観光収入の急増に合わせてサービス業の割合も上昇していますが、このように国が「脱石油」を進める背景にある理由として最も適切な説明はどれですか。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)

1. 近隣諸国との紛争により、石油の輸出ルートがすべて封鎖されたため
2. 石油の埋蔵量が世界で最も少なく、すでに完全に枯渇してしまったため
3. 国際社会から石油の採掘を禁止する条約が採択され、産業が禁止されたため
4. 限りある地下資源に頼り続けるリスクを回避し、安定した経済基盤を築くため

答え合わせ・解説

問1	答え 2 インドとブラジル	人口密度が極めて高く、国土の半分以上が農地として利用されているのはインドの特徴です。インドではヒンドゥスタン平原などの広大な平原部で農業が盛んに行われており、膨大な人口を支える基盤となっています。一方、国土の約6割が森林で、人口密度が1平方キロメートルあたり25人程度と比較的低いのはブラジルの特徴です。ブラジルは世界最大の熱帯雨林であるアマゾン川流域を擁しており、農地よりも森林の割合が圧倒的に高い統計結果を示します。
問2	答え 4 外国企業の誘致などによって、衣類や電気機器などの工業製品の輸出割合が増大し、工業国へと移行している。	東南アジア諸国では、1980年時点では天然ゴムや米などの農産物、石油や天然ガスといった鉱産資源の輸出が中心のモノカルチャー経済に近い構造でした。しかし、外資系企業の積極的な誘致や経済特区の整備、ASEAN（東南アジア諸国連合）内での自由貿易の進展などにより、2015年頃には衣類、電子部品、自動車などの工業製品の輸出割合が飛躍的に高まり、工業化が大きく進展しました。
問3	答え 1 より高い賃金を求め、内陸部の農村から沿海部の都市へ向けて大量の労働力が移動した	経済特区の設置などにより沿海部の工業化が進むと、内陸部の農村との間に大きな経済格差が生じました。その結果、より高い賃金を求めて内陸部から沿海部の都市へ移動する「民工潮」と呼ばれる大量の出稼ぎ労働者が現れ、中国の経済成長を支える一方で、格差の拡大が大きな社会問題となっています。
問4	答え 1 乾燥帯に属しており、原油の輸出によって得た利益をもとに、近年は金融や観光などの産業にも力を入れた近代都市を形成している。	アラビア半島を中心とする西アジアの産油国は、石油資源への依存から脱却するため、得られた富を新しい産業の育成に投資しています。特にドバイなどは、その地理的な利点を活かして、ハブ空港の整備や、高層ビルを象徴とする国際的な観光・金融都市へと変貌を遂げました。北アフリカや中央アジア、南アメリカにも産油国は存在しますが、砂漠環境での極めて近代的な都市開発は西アジアの大きな特徴です。
問5	答え 1 ヒンドゥー教	インドでは、古代からのバラモン教に民間信仰が融合して成立したヒンドゥー教が、圧倒的多数の人々に信仰されています。この宗教は、カースト制度と呼ばれる社会層の形成や、ガンジス川を聖なる川として崇める信仰など、インドの伝統的な生活様式と密接に関わっています。仏教はインドで誕生したものの、現在のインドにおける信仰者の割合は非常にわずかです。
問6	答え 3 アジア州	問題文に挙げられた地域や国々は、すべてユーラシア大陸の東部・南部・東南部およびその周辺に位置しており、アジア州に区分されます。オーストラリアやニュージーランドが含まれるオセアニア州と混同しないように注意が必要です。
問7	答え 2 スリランカ	南アジアに位置する島国であるスリランカは、かつてセイロンと呼ばれ、イギリス植民地時代からプランテーションでの茶（紅茶）の栽培が盛んに行われてきました。近年では、安価な労働力を背景とした衣類製品の製造・輸出が急成長しており、統計上でも茶を抜いて輸出額の首位となるなど、産業構造の変化が見られます。
問8	答え 4 赤道に近い低緯度のため、強い日差しによって空気が暖められて上昇気流が発生しやすいから。	熱帯の気候は、地球上で最も太陽の光を垂直に近い角度で受ける低緯度地域に分布しています。この強い日差しが地面付近の空気を急激に暖めることで上昇気流が生まれ、積乱雲が発達して「スコール」と呼ばれる激しい雨を頻繁に降させます。この仕組みが年間を通じて繰り返されるため、降水量と気温が共に高い水準で維持されます。
問9	答え 3 家畜の餌となる草や水を求めて、季節ごとに場所を移動しながら生活する必要があるため。	遊牧という生活形態は、自然環境に合わせて家畜とともに移動し続けることが前提となっています。そのため、住居には「軽量であること」「短時間で解体・組み立てができること」が求められます。ゲルは木製の骨組みと家畜の毛から作ったフェルトで構成されており、遊牧民の合理的な知恵が詰まった住居といえます。
問10	答え 1 1965年にはイギリスやアメリカ合衆国などの欧米諸国が貿易の上位を占めていたが、2015年には中国や日本などのアジア州の国々が上位となった。	オーストラリアの貿易構造は、20世紀半ばまではイギリスを中心としたヨーロッパ諸国に依存していましたが、21世紀に入ると経済発展の著しい中国をはじめとするアジア州諸国へとシフトしました。2015年時点では、中国、日本、韓国、タイといったアジアの国々が主要な貿易相手国の上位に並んでいます。
問11	答え 3 ヒンドゥー教	インドでは古くからの伝統や習慣が体系化されたヒンドゥー教が、人口の約8割を占める最大の宗教となっています。カースト制度に由来する社会慣習や、牛を神聖視する食文化、ガンジス川での沐浴など、インドの人々の生活の基盤となっています。
問12	答え 4 限りある地下資源に頼り続けるリスクを回避し、安定した経済基盤を築くため	石油資源は有限であり、国際情勢による価格変動が激しいため、それだけに依存することは経済的な不安定さを招きます。UAEは将来を見据え、観光や金融、航空などのサービス業を育成することで、石油がなくても国が成り立つような「脱石油」の仕組みづくりを急いでいるのです。